

令和7（2025）年度 第2学年 シラバス目次

シラバスの活用方法	2
歯科衛生学科授業科目一覧	4
教育の理念等	5
年間教務予定表	6
授業時間表	7
【前学期】	
医療心理学	8
口腔病理学	11
キャリア教育Ⅱ	14
臨床歯科医学Ⅰ総論B（臨床検査学）	16
臨床歯科医学Ⅱ応用（歯科保存学・歯周治療学）	19
臨床歯科医学Ⅲ（歯科補綴学）	23
臨床歯科医学Ⅳ（口腔外科学・歯科麻酔学）	26
臨床歯科医学Ⅴ（矯正歯科学）	30
臨床歯科医学Ⅵ（小児歯科学）	34
臨床歯科医学Ⅶ（高齢者歯科学）	38
臨床歯科医学Ⅷ（障害者歯科学）	41
歯科予防処置演習Ⅲ	44
歯科保健指導演習Ⅱ	48
歯科診療補助演習Ⅲ	52
専門歯科治療概論	55
健康文化論	58
プレゼンテーション技能	61
手話	63
【後学期】	
リハビリテーション論	66
総合講義Ⅱ（専門基礎分野）	68
歯科予防処置演習Ⅳ	70
歯科衛生過程論Ⅰ	72
歯科診療補助演習Ⅳ	74
看護学概論	76
病院実習・臨地実習Ⅰ	79
総合講義Ⅱ（専門分野）	81
医療保険事務Ⅰ	83
ケアコミュニケーション技法Ⅰ	86

シラバスの活用方法

本シラバスは毎日必ず携行し、授業の前後に記載内容を確認しながら、能動的に学習を進めてください。

各授業科目における記載項目、内容およびそれらの活用方法は以下の通りです。

【記載項目】

◆授業形態

講義・演習・実習

◆授業責任者

授業科目の責任者（◎印は実務経験のある教員）

◆学期

前期・後期・通年

◆授業概要

授業の概要を記載しています。初回の授業前には必ず確認しましょう。

◆一般目標（General Instructional Objective:GIO）

学習することにより得られる成果を総合的に示したもので、授業科目を終了した時点で達成されるべき目標です。

◆学習成果

授業を通して得られる成果が、ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーのどの部分に該当するのかを記載しています。

◆教科書・参考書

授業において使用する教科書・参考書および教員推薦の図書などを記載しています。授業中だけでなく予習・復習などの自己学習を充実するために、教科書だけでなく、参考書も積極的に利用しましょう。

◆アクティブラーニング

学生の能動的な学修への参加を取り入れた学習法の総称。

PBL（Project Based Learning）：テーマに沿ったプロジェクト又は特定の問題を提示し、それらの問題解決を通して、様々な知識・スキルを学ばせる方法。

ディベート：明確なルールに基づいて、肯定派と否定派に分かれて議論する方法。

ディスカッション：決められたテーマに対して自由に意見を交わす方法。

フィールドワーク：学内外のフィールドに赴き、調査や観察を通して情報収集を行う方法。（学外施設等の見学を含む。）

プレゼンテーション：学生がパワーポイント等を用いて発表資料を作成し、他の学生の前で発表を行う方法。

◆成績評価の方法

各授業科目における評価方法を記載しています。

複数の評価方法がある場合には、比率を明示していますので予め確認しておきましょう。

目標への到達度は、知識については定期試験における論述試験や客観試験で、臨床実習・臨地実習については、学習の成果を評価します。

◆オフィスアワー

授業科目責任者や授業担当者の連絡方法を記載しています。

授業内容に関する質問や学習方法に関する相談などを行う際に利用してください。

◆授業担当者

授業日ごとの授業担当者を記載しています。(◎印は実務経験のある教員)

◆授業内容

授業のテーマ、授業の内容を記載しています。

◆行動目標 (Specific Behavioral Objectives:SBOs)

SBOsはGIOを達成するために必要な具体的・観察可能な行動を示しています。授業の進行に応じて到達度を確認するときに利用しましょう。

講義科目については、試験前にも必ず確認してみましょう。

◆準備学習 (予習・復習)

1単位は45時間の学習に相当します。

講義の場合は、受講15時間と予習・復習30時間、演習の場合は、受講30時間と予習・復習15時間、実習の場合は、受講45時間となっています。

本欄に記載されている担当教員からの指示にしたがって、予習・復習を実施しましょう。

◆単位数

各授業科目の単位数は、次の基準により計算しています。ただし、1時間は40分としています。

①講義については、15時間の授業をもって1単位とします。

②演習 (語学を含む) については、30時間の授業をもって1単位とします。

③実習については、45時間の授業をもって1単位とします。

④教育上必要があるときは、講義及び演習については15時間～30時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって、実験・実習及び実技については30時間～45時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって、それぞれ1単位とすることがあります。

歯科衛生学科授業科目一覧（新カリキュラム：R5.4.1以降入学者対象）

科目名		単位数
基礎分野		
1	英語Ⅰ 演	2
2	英語Ⅱ 演	2
3	生物学 講	1
4	接遇・コミュニケーション技法 演	1
5	国語表現 講	2
6	医療心理学 講	2
7	情報リテラシー 演	1
小 計		11
専門基礎分野		
8	人体の構造と機能Ⅰ 講	2
9	人体の構造と機能Ⅱ 講	2
10	口腔解剖学実習 実	1
11	口腔の構造と機能Ⅰ 講	2
12	口腔の構造と機能Ⅱ 講	2
13	病理学 講	1
14	口腔病理学 講	1
15	微生物学 講	2
16	薬理学 講	2
17	口腔衛生学・衛生統計学 講	2
18	公衆衛生学 講	2
19	衛生行政・社会福祉 講	2
20	リハビリテーション論 講	1
21	総合講義Ⅰ（専門基礎分野） 講	1
22	総合講義Ⅱ（専門基礎分野） 講	1
23	総合講義Ⅲ（専門基礎分野） 講	1
24	総合講義Ⅳ（専門基礎分野） 講	1
小 計		26
専門分野		
25	歯科衛生士概論（含医療倫理） 講	1
26	キャリア教育Ⅰ 講	0.5
27	キャリア教育Ⅱ 講	0.5
28	臨床歯科医学Ⅰ総論A（歯科放射線学） 講	0.5
29	臨床歯科医学Ⅰ総論B（臨床検査学） 講	0.5
30	臨床歯科医学Ⅱ基礎（歯科保存学・歯周治療学） 講	1
31	臨床歯科医学Ⅱ応用（歯科保存学・歯周治療学） 講	1
32	臨床歯科医学Ⅲ（歯科補綴学） 演	1
33	臨床歯科医学Ⅳ（口腔外科学・歯科麻酔学） 演	1
34	臨床歯科医学Ⅴ（矯正歯科学） 演	1
35	臨床歯科医学Ⅵ（小児歯科学） 演	1
36	臨床歯科医学Ⅶ（高齢者歯科学） 演	0.5

科目名		単位数
37	臨床歯科医学Ⅷ（障害者歯科学） 演	0.5
38	早期体験演習 演	1
39	歯科予防処置論 講	2
40	歯科予防処置演習Ⅰ 演	1
41	歯科予防処置演習Ⅱ 演	2
42	歯科予防処置演習Ⅲ 演	2
43	歯科予防処置演習Ⅳ 演	1
44	歯科保健指導論Ⅰ 講	2
45	歯科保健指導論Ⅱ 講	2
46	歯科保健指導演習Ⅰ 演	1
47	歯科保健指導演習Ⅱ 演	1
48	歯科保健指導演習Ⅲ 演	1
49	歯科衛生過程論Ⅰ 講	1
50	歯科衛生過程論Ⅱ 講	1
51	歯科診療補助論 講	1
52	歯科材料学 講	1
53	歯科診療補助演習Ⅰ 演	1
54	歯科診療補助演習Ⅱ 演	2
55	歯科診療補助演習Ⅲ 演	2
56	歯科診療補助演習Ⅳ 演	1
57	看護学概論 講	1
58	病院実習・臨地実習Ⅰ 実	10
59	病院実習・臨地実習Ⅱ 実	10
60	総合講義Ⅰ（専門分野） 講	1
61	総合講義Ⅱ（専門分野） 講	1
62	総合講義Ⅲ（専門分野） 講	1
63	総合講義Ⅳ（専門分野） 講	1
小 計		61
選択必修分野		
64	専門歯科治療概論 講	2
65	健康文化論 講	1
66	プレゼンテーション技能 講	2
67	手話 講	2
68	医療保険事務Ⅰ 講	1.5
69	医療保険事務Ⅱ 講	1.5
70	ケアコミュニケーション技法Ⅰ 講	1.5
71	ケアコミュニケーション技法Ⅱ 講	1.5
72	歯科衛生研究概論 講	2
小 計		15
合 計		113

教育の理念等

教育の理念

本学学則には、その目的を「本学は、学校教育法の精神に基づき、歯科衛生及び歯科技工に関する専門の知識と技術を教授研究し、高度な歯科衛生士及び歯科技工士の育成を図ることを目的とする」と規定している。この目的を体して、医学の一領域・人体の健康を担当する医療人として、知識と技術と倫理観、すなわち学・術・道を兼ね備えた歯科衛生士、歯科技工士を養成する。

教育の目的

教育の理念を具現するために、一般教養と基礎医学及び臨床に関する最新の講義と実習を行い修得させる。これにより、医学の一領域・人体の健康を担当する医療人として、知識と技術と倫理観、すなわち学・術・道を兼ね備えた歯科衛生士、歯科技工士を養成し口腔保健衛生、歯科技工の向上に寄与し、保健・医療・福祉に貢献することを目的とする。

教育の目標

1. 地域医療に貢献できる歯科衛生士を育成する。
2. 健康増進と疾病の予防に貢献できる歯科衛生士を育成する。
3. 自らの健康を守り、豊かな人間性を持った歯科衛生士を育成する。
4. 幅広い教養と倫理観を持った歯科衛生士を育成する。
5. 社会のニーズに対応し、自己研鑽できる歯科衛生士を育成する。
6. 多職種の中での役割を理解し、協働連携できる歯科衛生士を育成する。
7. 問題を発見し解決する能力を持った歯科衛生士を育成する。

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

本学では、以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得することにより、短期大学士の学位が与えられるとともに、歯科衛生士国家試験受験資格を取得できます。

1. 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
2. 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
3. 歯科衛生の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
4. 歯科衛生士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
5. 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

本学は、教育の理念に基づいた人材育成のために、教養科目および専門基礎・臨床の均整のとれた科目を構築し、以下の方針で教育を行います。

1. 全人的視点から口腔の健康支援をするための基礎教育と専門教育を行う。
2. 豊かな人間性、社会性、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
3. 協調性、責任感、奉仕の精神を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
4. 専門化・高度化する保健・医療・福祉に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
5. 国家資格取得を支援するための教育を行う。

令和7年度 歯科衛生学科 年間教務予定表

月	日	曜	事 項
4	1	火	春期休業 2年・3年 (～3日(木))
	3	木	入学式
	4	金	1年オリエンテーション (～7日(月)2日間) 2年・3年オリエンテーション
	7	月	2年・3年前学期授業開始
	8	火	1年前学期授業開始 3年実力判定試験①
	26	土	クラブ活動週間 (～5月6日(火)まで休講)
5	21	水	学生交流会 (休講)
6	1	日	創立記念日
	中旬		定期健康診断
	22	日	浜浦祭 (学生会主催)
7	22	火	2年O S C E
	23	水	2年実力判定試験①
	24	木	2年夏期休業開始 (8月31日(日)まで)
	25	金	1年夏期休業開始 (8月31日(日)まで)
8	1	金	3年夏期休業開始 (～31日(日), 成績下位者補講)
9	1	月	1年・2年・3年前学期授業再開
	8	月	1年前学期授業終了
	10	水	1年前学期定期試験開始 2年前学期授業終了
	11	木	2年前学期定期試験開始
	16	火	3年実力判定試験②
	下旬		2年登院前特別実習 (～30日(月)) 1年・2年後学期オリエンテーション
10	1	水	1年後学期授業開始 2年登院式・登院オリエンテーション 3年秋期休業開始 (～7日(火), 成績下位者補講)
	2	木	2年病院実習開始 (登院)
	8	水	3年後学期授業開始
11			
12	3	水	3年総合試験①
	16	火	2年実力判定試験②
	24	水	1年冬期休業開始 (～1月12日(月)) 3年冬期休業開始 (～1月6日(火), 成績下位者補講)
	27	土	2年冬期休業開始 (～1月4日(日))
1	5	月	2年後学期授業再開
	7	水	3年総合試験②
	13	火	1年後学期授業再開
2	5	木	1年後学期授業終了
	6	金	3年卒業試験
			1年後学期定期試験開始
	24	火	2年総合試験
	25	水	1年総合試験
3	上旬		第35回歯科衛生士国家試験
	中旬		第41回卒業式

※第1学年…7月24日(木), 10月14日(火), 11月5日(水), 11月27日(木)は月曜授業

新潟短期大学 歯科衛生学科
令和7（2025）年度 第2学年 授業時間表

	1 限	2 限	3 限	4 限	5 限
	9：00～10：20	10：40～12：00	13：00～14：20	14：40～16：00	16：20～17：40
月	医療心理学	手話（選択）	臨床歯科医学Ⅲ （歯科補綴学）	臨床歯科医学Ⅰ 総論B （臨床検査学）	基礎学習
		プレゼンテーション 技法（選択）		キャリア教育Ⅱ	
火	臨床歯科医学Ⅱ 応用 （歯科保存学・歯周治療学）	専門歯科治療概論 （選択）	臨床歯科医学Ⅵ （小児歯科学）	臨床歯科医学Ⅶ （高齢者歯科学）	基礎学習
				臨床歯科医学Ⅷ （障害者歯科学）	
水	歯科診療補助演習Ⅲ		歯科予防処置演習Ⅲ		基礎学習
木	歯科保健指導演習Ⅱ		基礎学習		基礎学習
金	臨床歯科医学Ⅴ （矯正歯科学）	健康文化論（選択）	臨床歯科医学Ⅳ （口腔外科学・歯科麻酔学）	口腔病理学	基礎学習
				基礎学習	

	1 限	2 限	3 限	4 限	5 限
	9：00～10：20	10：40～12：00	13：00～14：20	14：40～16：00	16：20～17：40
月	病院実習・臨床実習Ⅰ（17：00）				基礎学習
火	総合講義Ⅱ（専門・専門基礎）	歯科診療補助演習Ⅳ			基礎学習
		歯科予防処置演習Ⅳ			
水	医療保険事務Ⅰ（選択）	歯科衛生過程論Ⅰ	看護学概論		基礎学習
	ケアコミュニケーション技法Ⅰ（選択）	リハビリテーション論	キャリア教育Ⅱ		
			健康文化論（選択）		
木	病院実習・臨床実習Ⅰ（17：00）				基礎学習
金	病院実習・臨床実習Ⅰ（17：00）				基礎学習

授業科目名

医療心理学

授業形態

講義

授業責任者

山崎 理恵

学年

第2学年

学期

前期

曜日

月曜日

授業時間

9:00～10:20

授業概要

心理学とは、人の心の働きを科学的な方法で解明しようとする学問である。医療に携わる上で、そして社会に出て生きる上では、自分や他者を理解しながら人と関わっていくことが常に求められる。この授業では、各心理学領域の知見・概説を学び、「人の心や行動、社会集団の基本的な仕組み及び働き」についての基本的事項を把握できるように学び、「人と信頼関係を築くための態度・コミュニケーション技法」を修得する。授業を通して、心理学という観点から各人の人間理解を深める一端となることを目指す。

一般目標(GIO)

医療従事者として患者との良好な関係を築き、かつ医療現場での他の職員と円滑な人間関係を保つために、人の心理や行動に関する基本的な知見や考え方を理解して人間理解を深める。また、歯科衛生士としてふさわしいコミュニケーションに必要な基本的知識・態度・技能を身につける。

学習成果(ディプロマ・ポリシー)

- ☐ ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- ☐ ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- ☐ ③ 歯科衛生士の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- ☐ ④ 歯科衛生士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- ☐ ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果(カリキュラム・ポリシー)

- ☐ ① 全人的視点から口腔の健康支援をするための基礎教育と専門教育を行う。
- ☐ ② 豊かな人間性、社会性、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- ☐ ③ 協調性、責任感、奉仕の精神を身に付けるための臨床・臨床実習を行う。
- ☐ ④ 専門化・高度化する保健・医療・福祉に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- ☐ ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書

歯科衛生学シリーズ 心理学(医歯薬出版、2023)、授業内配布プリント

参考書**アクティブ・ラーニング(複数選択可)**

- ☐ PBL ☐ ディベート ☐ ディスカッション
- ☐ フィールドワーク ☐ プレゼンテーション
- ☐ その他()

成績評価の方法と割合

- ☐ 定期試験(90 %) ☐ 提出物(ノート・レポート)(10 %)
- ☐ ポートフォリオ(%) ☐ 成果発表(口頭・実技)(%)
- ☐ その他()(%)

多選択肢形式・記述式の筆記試験(90%)と、講義の際の小レポートの提出率・その内容(10%)により評価を行う。再試験、追試験は必要に応じて実施することがある。

オフィスアワー

当該授業の終了後

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
第1回	山崎 理恵	心理学の概説と成り立ち	1.心理学の対象と研究方法など、心理学という学問への正しい認識を得る。 2.心理学成立から現在までのを概略を理解する
	準備学習	指定教科書の15章の要点確認	
第2回	山崎 理恵	感覚と知覚	1. 人間の感覚、知覚の特徴について理解する 2. 錯覚現象や運動現象などについて学ぶ
	準備学習	指定教科書の1章の要点確認	
第3回	山崎 理恵	学習心理学	1.学習のメカニズムや条件付けのプロセスについて学び、人間の行動が経験を通じてどのように習得されていくのか理解する
	準備学習	指定教科書 2章-①の要点を確認	
第4回	山崎 理恵	記憶	1.人間の記憶の過程や仕組みを学ぶ
	準備学習	指定教科書 2章-②、③の要点を確認	
第5回	山崎 理恵	動機づけ・欲求	1. 動機づけのメカニズムや種類、欲求の種類や特徴を学ぶ
	準備学習	指定教科書 3章の要点を確認	
第6回	山崎 理恵	感情と思考	1. 喜怒哀楽が生じるメカニズムについて学び、欲求とフラストレーション、葛藤場面について理解を深める 2. 問題解決のための思考方略について学ぶ
	準備学習	指定教科書 4章の要点、および7章の要点を確認	
第7回	山崎 理恵	性格心理学と知能	1. パーソナリティに関する理論、パーソナリティを査定する検査や、パーソナリティの異常や障害についてを学ぶ 2. 知能の測定法や知能数値,その概念についてを学ぶ
	準備学習	指定教科書 5章の要点、6章の要点を確認	
第8回	山崎 理恵	発達心理学①	1. 発達を規定する要因や、乳幼児～児童期の心理的側面からその発達過程、特徴を知る
	準備学習	指定教科書 8章の要点を確認	
第9回	山崎 理恵	発達心理学② 発達障害について	1. 青年期～老年期の発達課題について学ぶ 2. 発達障害についての認識を深める
	準備学習	指定教科書 9章の要点を確認	
第10回	山崎 理恵	社会心理学①	1. 印象形成、対人認知に関する理論を学ぶ
	準備学習	指定教科書 10章の要点を確認	
第11回	山崎 理恵	社会心理学②	2. 集団における対人行動の特徴や、社会的影響について具体的に学ぶ
	準備学習	指定教科書 11章の要点を確認	

第12回	山崎 理恵	メンタルヘルス	1. ストレス研究についての知見を学ぶ 2. ストレスマネジメントについて理解を深め、こころの健康に関する知識を身につける
	準備学習	指定教科書 4章-③および12章-①を確認	
第13回	山崎 理恵	臨床心理学 カウンセリング基礎論	1. 臨床心理学の対象について理解する。 2. カウンセリングにおける基本的態度や理論を学ぶ
	準備学習	指定教科書 13章14章の要点を確認	
第14回	山崎 理恵	カウンセリング技法	1. 対人コミュニケーションについて言語的コミュニケーション、非言語的コミュニケーションの特徴を理解する。 2. カウンセリングマインドを応用してコミュニケーション技法を演習的に学ぶ
	準備学習	指定教科書 13章14章の要点を確認	
第15回	山崎 理恵	対人関係論 授業まとめ	1. 対人関係における様々なコミュニケーション法を学ぶ 2. 学習内容を整理して、理解が不十分な点を補足する
	準備学習	1～14回の授業内容にへの質問・疑問、感想などを各自考えておくこと	

授業科目名

口腔病理学

授業形態

講義

授業責任者

束理 頼亮

学年

第2学年

学期

前期

曜日

金曜日

授業時間

14:40～16:00

授業概要

第1学年後期で学んだ全身の病理学の知識を基本軸に、口腔内に発症する疾患の肉眼的所見、病理組織学的特徴の双方を習得させる。

一般目標(GIO)

病変の分類、代表的な疾病の肉眼的・組織学的な特徴や必要な用語の定義を十分に理解し、疾患概念を把握したうえで病態を患者さんにわかりやすく説明できるようになる。

学習成果(ディプロマ・ポリシー)

- ☐ ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- ☐ ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- ☐ ③ 歯科衛生の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- ☐ ④ 歯科衛生士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- ☐ ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果(カリキュラム・ポリシー)

- ☐ ① 全人的視点から口腔の健康支援をするための基礎教育と専門教育を行う。
- ☐ ② 豊かな人間性、社会性、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- ☐ ③ 協調性、責任感、奉仕の精神を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
- ☐ ④ 専門化・高度化する保健・医療・福祉に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- ☐ ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書

【歯科衛生学シリーズ】(医歯薬出版)
 疾病の成り立ち及び回復過程の促進Ⅰ 病理学・口腔病理学, 配布プリント

参考書

歯学生のための病理学(医歯薬出版)

アクティブ・ラーニング(複数選択可)

- ☐ PBL ☐ ディベート ☐ ディスカッション
- ☐ フィールドワーク ☐ プレゼンテーション
- ☐ その他()

成績評価の方法と割合

- ☐ 定期試験(100%) ☐ 提出物(ノート・レポート)(%)
- ☐ ポートフォリオ(%)
- ☐ 成果発表(口頭・実技)(%)
- ☐ その他()(%)

学期末試験(多選択肢形式および記述筆記試験)の成績(100%)で進級を決定する。再試験、追試験は必要に応じて実施することがある。

オフィスアワー

水曜日・16:00～17:00・病院3階 病理学講座 ※事前にメールで要予約(E-mail: ykanriy@ngt.ndu.ac.jp(東理))

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
第1回	東理 頼亮	歯の形成異常と歯の損傷 歯の形成過程で生じる異常の発症機序を考察する。また、様々な原因により生じる外傷についても考察する。	1. 歯の発育異常について種類と病態を説明する。 2. 歯の損傷について説明する。 3. 酸蝕症の病因や病態を説明する。 4. 歯頸部知覚過敏症の病因や病態を説明する。 専門基礎C-1-7) -①,②,⑥,⑦
	準備学習	テキストⅡ編 第1章、第2章 (P70～85) の要点確認	
第2回	東理 頼亮	う蝕の病理 ヒトのう蝕罹患の変遷、病態と診断法を理解し、初期う蝕の特徴と再石灰化による脱灰病巣の修復を考察する。	1. プラーク、歯石の形成とその偽害性を説明する。 2. う蝕の病因と病態を説明する。 3. う蝕を組織学的に分類し、その特徴を説明する。 専門基礎C-1-7) -③,④,⑤
	準備学習	テキストⅡ編 第3章 (P88～95) の要点確認	
第3回	東理 頼亮	歯髄・歯根膜の病変 外来刺激が歯髄に到達した場合の病変を考察する。また、根尖周囲に惹起する病変を理解する。	1. 歯髄疾患の病因や病態を説明する。 2. 歯髄炎を分類し、その特徴を説明する。 専門基礎C-1-7) -⑧,⑨
	準備学習	テキストⅡ編 第4章 (P97～104) の要点確認	
第4回	東理 頼亮	辺縁性歯周炎と根尖性歯周炎 歯周組織の構成要素を復習し、硬組織と軟組織の接合部に発症する病態を理解する。	1. 根尖性・辺縁性歯周疾患の病因や病態を説明する。 2. 歯周炎を分類し、その特徴を説明する。 3. 歯周疾患の病因や病態を説明する。 専門基礎C-1-7) -⑩,⑪,⑫,⑬
	準備学習	テキストⅡ編 第5章 (P105～120) の要点確認	
第5回	東理 頼亮	顎骨の病変 骨格系の役割と骨代謝の仕組みを修得し、骨吸収と骨形成のバランスとその破綻による疾患の成り立ちを理解する。	1. 上・下顎骨の炎症、腫瘍類似疾患の種類と特徴を説明する。 専門B-5-⑤,⑦,⑧
	準備学習	テキストⅡ編 第7章 (P152～159) の要点確認	
第6回	東理 頼亮	口腔粘膜の病変 口腔粘膜の組織構造と上皮細胞層について復習し、口腔粘膜に現れる臨床症状と病理組織変化を結び付けて理解する。	1. 口腔粘膜疾患の病因や病態を説明する。 専門基礎C-1-7) -⑮ 専門B-5-④
	準備学習	テキストⅡ編 第6章 (P122～132) の要点確認	
第7回	東理 頼亮	唾液腺の病変 唾液腺の組織発生と構成要素を復習し、唾液腺の変性と修復・再生、腫瘍発生について理解する。	1. 唾液腺疾患について説明する。 専門基礎C-1-7) -⑯ 専門B-5-⑨
	準備学習	テキストⅡ編 第10章 (P161～166) の要点確認	

第 8 回	東理 頼亮	口腔領域の腫瘍と嚢胞 口腔領域に発症する腫瘍と嚢胞の分類と病態を理解する。	1.口腔領域の嚢胞について説明する(歯源性嚢胞を含む)。 専門基礎C-1-7)-⑯ 専門B-5-⑥ 2.口腔領域の腫瘍について説明する(歯源性腫瘍を含む)。 専門基礎C-1-7)-⑰ 専門B-5-⑦
	準備学習	テキストⅡ編 第7章(P133～143)の要点確認	
第 9 回	東理 頼亮	総括(口腔病理のまとめ) 各講義内容をふりかえり、 歯科診療補助に繋がる知識 の整理・整頓を行う。	
	準備学習	第1～8回までの講義内容で不明な点を抽出して、質問の準備をする。	

授業科目名

キャリア教育Ⅱ

授業形態

講義

授業責任者

◎加藤 千景

学年

第2学年

学期

通年

曜日前期：月曜日
後期：水曜日**授業時間**前期：14:40～16:20
後期：14:40～16:20**授業概要**

1学年次では多種多様な職業の中における歯科衛生士の役割を学んできた。本授業では自身の理想とする歯科衛生士を目指すべく、現場見学や目標を立案し、より明確なキャリア形成を目指す。

一般目標(GIO)

歯科衛生士として明確にキャリア形成するために必要な知識、技術、態度を修得する。

学習成果(ディプロマ・ポリシー)

- ☐ ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- ☐ ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- ☐ ③ 歯科衛生の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- ☐ ④ 歯科衛生士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- ☐ ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果(カリキュラム・ポリシー)

- ☐ ① 全人的視点から口腔の健康支援をするための基礎教育と専門教育を行う。
- ☐ ② 豊かな人間性、社会性、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- ☐ ③ 協調性、責任感、奉仕の精神を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
- ☐ ④ 専門化・高度化する保健・医療・福祉に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- ☐ ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書**参考書****アクティブ・ラーニング(複数選択可)**

- ☐ PBL ☐ ディベート ☐ ディスカッション
- ☐ フィールドワーク ☐ プレゼンテーション
- ☐ その他()

成績評価の方法と割合

- ☐ 定期試験() (%) ☐ 提出物(ノート・レポート)(100%)
- ☐ ポートフォリオ() (%) ☐ 成果発表(口頭・実技)() (%)
- ☐ その他() () (%)

合同実習(50%) 歯科医院見学(50%)の割合でレポート評価を行う。欠席した場合の補講は基本的に実施しない。

オフィスアワー

E-mail: chikage@ngt.ndu.ac.jp(加藤千景) 新潟短期大学(短大2階)

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
第1回	◎煤賀 美緒	就職活動の進め方	1. 卒業後の進路を考える。 2. 就職活動の手順を説明する。
	準備学習	卒業後の進路について、ある程度考えておくこと。	
第2回	◎宮崎 晶子	合同実習① 口腔清掃状態の記録	1. 口腔検査を実施する。 2. 対象者のアセスメントを行う。 3. 歯科衛生計画を立案する。 専門A-2-①～⑧、専門D-3-2)-①～⑤
	準備学習	歯科予防処置論・歯科保健指導論 Ⅲ編を読む。	
第3回	◎宮崎 晶子	合同実習② 口腔清掃状態の記録	1. 口腔検査を実施する。 2. 対象者のアセスメントを行う。 3. 歯科衛生計画を立案する。 専門A-2-①～⑧、専門D-3-2)-①～⑤
	準備学習	歯科予防処置論・歯科保健指導論 Ⅲ編を読む。	
第4回	◎宮崎 晶子	合同実習③ 口腔清掃指導	1. 歯科衛生介入を行う。 2. 歯科衛生評価を説明できる。 3. 歯科衛生業務記録の意義を説明できる。 専門A-2-①～⑧、専門D-3-2)-①～⑤
	準備学習	歯科予防処置論・歯科保健指導論 Ⅲ編を読む。	
第5回	◎煤賀 美緒	歯科医院見学の概要	1. 歯科医院見学の手順を説明する。 2. 見学する歯科医院を選択する。 3. 歯科医院見学のためのアポイントを取る。
	準備学習	授業終了後、各自で歯科医院へアポイントを取ること。	
第6回	◎煤賀 美緒	歯科医院見学	1. 開業医で働く歯科衛生士を見学する。 2. 開業医で働くスタッフ間の連携を見学する。 3. 地域における歯科医院の役割を説明する。
	準備学習	見学後は感想文を提出のこと。	
第7回	◎加藤 千景 ◎榎 志佳	歯科臨床検討	1. 歯科臨床実習における長期目標を立案する。 2. 歯科臨床実習における短期目標を立案する。
	準備学習	授業後は立てた目標に従い歯科臨床実習に臨むこと。	
第8回	◎煤賀 美緒	進路検討	1. 自己の進路について検討する。
	準備学習	就職（県内外、開業医、病院）、進学を含め事前にある程度検討しておくこと。	

授業科目名

臨床歯科医学Ⅰ総論B(臨床検査学)

授業形態

講義

授業責任者

◎東理 頼亮

学年

第2学年

学期

前期

曜日

月曜日

授業時間

14:40～16:00

授業概要

現在の歯科医療現場では、慢性疾患を有する患者や高齢者に対する歯科治療の機会が増加している。将来的に歯科衛生士は患者の全身状態を素早く把握でき、適切な対応ができる知識の習得が要望されている。
本講義では、患者の健康状態を示す臨床検査データを理解するため、検査を行う目的や必要性をふまえて検査項目の内容と重要性、検査方法を修得する。

一般目標(GIO)

患者の体の状況を示す臨床検査データを正しく理解し、歯科診療の補助や予防処置としての適切な対応がおこなえる能力を身につける。

学習成果(ディプロマ・ポリシー)

- ☐ ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- ☐ ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- ☐ ③ 歯科衛生の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- ☐ ④ 歯科衛生士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- ☐ ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果(カリキュラム・ポリシー)

- ☐ ① 全人的視点から口腔の健康支援をするための基礎教育と専門教育を行う。
- ☐ ② 豊かな人間性、社会性、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- ☐ ③ 協調性、責任感、奉仕の精神を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
- ☐ ④ 専門化・高度化する保健・医療・福祉に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- ☐ ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書

【歯科衛生学シリーズ】(医歯薬出版)臨床検査、配布プリント

参考書**アクティブ・ラーニング(複数選択可)**

- ☐ PBL ☐ ディベート ☐ ディスカッション
- ☐ フィールドワーク ☐ プレゼンテーション
- ☐ その他()

成績評価の方法と割合

- ☐ 定期試験(100%) ☐ 提出物(ノート・レポート)(%)
- ☐ ポートフォリオ(%)
- ☐ 成果発表(口頭・実技)(%)
- ☐ その他()(%)

学期末試験(多選択肢形式および記述筆記試験)の成績(100%)で進級を決定する。再試験、追試験は必要に応じて実施することがある。

オフィスアワー

金曜日・16:00～17:00・病院3階 病理学講座 ※事前にメールで要予約(E-mail: ykanriy@ngt.ndu.ac.jp(東理))

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
第 1 回	◎東理 頼亮	序 説 ・臨床検査の意義ならびに検査法の種類を学び、臨床検査と歯科衛生士の役割を理解する。	1. 臨床検査の必要性を理解するために必要な器具の使用法を説明する。 専門B-1-4) ①～③
	準備学習	テキスト第1章 (P1～10) の要点確認	
第 2 回	◎東理 頼亮	生理機能検査 ・生理機能検査の意義を理解し、体温、脈拍、血圧の測定法を学ぶ。	1. 生体検査の準備ができる。 2. 生体検査を説明する。 専門B-1-4) ①～③
	準備学習	テキスト第2章 (P11～42) の要点確認	
第 3 回	◎東理 頼亮	血液学的検査 ・貧血ならびに出血原因や止血機構を理解し、検査法を学ぶ。	1. 検体検査を説明する。 専門B-1-4) ①～③
	準備学習	テキスト第3章 (P43～66) の要点確認	
第 4 回	◎東理 頼亮	感染症の検査 ・感染症を理解し、細菌検査法を学ぶ。	1. 検体検査を説明する。 専門B-1-4) ①～③
	準備学習	テキスト第4章 (P67～84) の要点確認	
第 5 回	◎東理 頼亮	肝機能の検査 ・肝機能のメカニズムを理解し、肝臓特有の疾患と照らし合わせながら検査法を学ぶ。	1. 検体検査を説明する。 専門B-1-4) ①～③
	準備学習	テキスト第5章 (P87～100) の要点確認	
第 6 回	◎東理 頼亮	腎機能の検査 ・腎機能のメカニズムを理解し、検査法や人工透析について学ぶ。	1. 検体検査を説明する。 専門B-1-4) ①～③
	準備学習	テキスト第6章 (P101～110) の要点確認	
第 7 回	◎東理 頼亮	糖尿病の検査 ・糖代謝のメカニズムと糖尿病の病態、検査方法を学ぶ。	1. 検体検査を説明する。 専門B-1-4) ①～③
	準備学習	テキスト第7章 (P113～123) の要点確認	
第 8 回	◎東理 頼亮	代謝・内分泌疾患の検査 ・恒常性に必須の金属やホルモン、ビタミンに関連する検査について学ぶ。	1. 検体検査を説明する。 専門B-1-4) ①～③
	準備学習	テキスト第8章 (P125～127) の要点確認	
第 9 回	◎東理 頼亮	免疫・血清学的検査 ・アレルギーや輸血に関連した検査および腫瘍マーカーについて学ぶ。	1. 検体検査を説明する。 専門B-1-4) ①～③
	準備学習	テキスト第9章 (P129～147) の要点確認	

第10回	◎東理 頼亮	病理学的検査 ・採取された検体の種類や検査方法と評価方法について学ぶ。	1. 検体検査を説明する。 専門B- 1 - 4) ①～③
	準備学習	テキスト第10章 (P149～155) の要点確認	
第11回	◎東理 頼亮	口腔領域の検査1 ・う蝕と歯周病の検査法について学ぶ。 ・口臭と味覚の検査法について学ぶ。	1. 口腔内検査・顎口腔機能を説明する。 専門B-1-2) ① 専門B-3-③
	準備学習	テキスト第12章 (P173～186) の要点確認	
第12回	◎東理 頼亮	口腔領域の検査2 ・口腔カンジダ症の検査について学ぶ。 ・口腔機能低下症の検査について学ぶ。	1. 口腔内検査・顎口腔機能を説明する。 専門B- 1 - 2) ②,③,④
	準備学習	テキスト第12章 (P187～198) の要点確認	
第13回	◎東理 頼亮	口腔領域の検査3、総括 ・接触嚥下障害の検査について学ぶ。 ・全講義内容をふりかえり、診療補助に繋がるための知識の整理を行う。	1. 口腔内検査・顎口腔機能を説明する。 専門B- 1 - 2) ③,④,⑧
	準備学習	テキスト第12章 (P199～206) の要点確認	

授業科目名

臨床歯科医学Ⅱ応用(歯科保存学・歯周治療学)

授業形態

講義

授業責任者

◎加藤 千景

学年

第2学年

学期

前期

曜日

火曜日

授業時間

9:00～10:20

授業概要

【保存修復学】では、う蝕を中心とした硬組織疾患の治療法、各修復方法についての前処置、特徴、使用する器具・器材について修得する。
 【歯内治療学】では、う蝕の继发症といわれる歯髄疾患と根尖性歯周組織疾患の概要と治療法、使用器具・器材、薬剤の用途とその注意点について修得する。
 【歯周病学】では、歯周治療に関わる歯科衛生士に必要な歯周病の病態、原因、検査の知識を修得する。

一般目標(GIO)

う蝕を中心とした硬組織疾患、およびその继发症といわれる歯髄疾患、根尖性歯周組織疾患に罹患した歯の保存方法を理解するために、治療方法と治療に必要な器具・器材および薬剤の用途についての知識を修得するとともに、歯周治療の重要な役割を担う歯科衛生士に必要な歯周組織、歯周病の病態、原因、治療法についての基礎的知識を修得する。

学習成果(ディプロマ・ポリシー)

- ☐ ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- ☐ ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- ☐ ③ 歯科衛生の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- ☐ ④ 歯科衛生士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- ☐ ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果(カリキュラム・ポリシー)

- ☐ ① 全人的視点から口腔の健康支援をするための基礎教育と専門教育を行う。
- ☐ ② 豊かな人間性、社会性、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- ☐ ③ 協調性、責任感、奉仕の精神を身に付けるための臨床・臨床実習を行う。
- ☐ ④ 専門化・高度化する保健・医療・福祉に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- ☐ ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書

【歯科衛生学シリーズ】(医歯薬出版) 保存修復学・歯内療法学 第1版 1刷 歯周病学 第1版 1刷
 【歯科衛生学シリーズ】(医歯薬出版) 保存修復学・歯内療法学 第1版 1刷

参考書

保存修復学 第7版(医歯薬出版) 保存修復学21第6版(永末書店)
 歯内療法学 第5版(医歯薬出版) 歯科衛生士講座 歯周病学 第5版(永末書店)
 歯周病学用語集 第3版(医歯薬出版)

アクティブ・ラーニング(複数選択可)

- ☐ PBL ☐ ディベート ☐ ディスカッション
- ☐ フィールドワーク ☐ プレゼンテーション
- ☐ その他()

成績評価の方法と割合

- ☐ 定期試験(100%) ☐ 提出物(ノート・レポート)(%)
- ☐ ポートフォリオ(%) ☐ 成果発表(口頭・実技)(%)
- ☐ その他() (%)

一般目標で示した項目についての多選択肢形式筆記試験(100%)により評価を行う。再試験、追試験は必要に応じて実施する。

オフィスアワー

E-mail: chikage@ngt.ndu.ac.jp(加藤千景) 新潟短期大学(短大2階)
 E-mail: takasio@ngt.ndu.ac.jp(高塩智子) 新潟生命歯学部総合診療科(病院3階)

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
第 1 回	◎加藤 千景	グラスアイオノマーセメント修復 アマルガム修復 グラスアイオノマーセメント修復およびアマルガム修復の特徴、組成、術式、診療補助について理解する。	1. グラスアイオノマーセメント修復について説明する。 2. グラスアイオノマーセメント修復の診療補助について理解する。 専門基礎C-3-11) -①、専門E-2-4) -①、専門E-3-3) -④⑤ 3. アマルガム修復について説明する
	準備学習	歯科衛生学シリーズ 保存修復学・歯内療法学 P. 62～69の事前学習	
第 2 回	◎加藤 千景	歯髄保護法（歯髄鎮痛消炎療法、覆髄法、裏層法） 象牙質知覚過敏症 歯髄保護の重要性と、歯髄鎮痛消炎療法、覆髄法、裏層法の目的、術式、使用器具、薬剤、材料について理解する。象牙質知覚過敏症の発生機序と治療法について理解する。	1. 歯髄鎮痛消炎療法について説明する。 2. 覆髄法について説明する。 3. 裏層法について説明する。 専門B-2-⑫ 4. 象牙質知覚過敏について説明する。 専門基礎C-1-7) -⑦、専門B-2-⑨
	準備学習	歯科衛生学シリーズ 保存修復学・歯内療法学 P. 44,45,118～120,138～136の事前学習	
第 3 回	◎加藤 千景	インレー修復と合着用セメント① インレー修復について、使用材料の種類と特徴、修復方法、合着用セメントの取り扱い、診療補助について理解する。	1. 直接修復、間接修復の特徴がわかる。専門B-2-⑤ 2. インレー修復について説明する。専門E-3-4) -①② 3. 仮封について説明する。専門E-2-5) -① 4. 合着用セメントについて説明する。専門E-2-2) -①
	準備学習	歯科衛生学シリーズ 保存修復学・歯内療法学 P. 79～93の事前学習	
第 4 回	◎加藤 千景	インレー修復と合着用セメント② インレー修復について、使用材料の種類と特徴、修復方法、合着用セメントの取り扱い、診療補助について理解する。 補修修復	1. 合着用セメントについて説明する。専門E-2-2) -① 2. 補修修復について説明する。専門B-2-⑩ 3. 歯冠修復物のメンテナンスの意義について説明する。専門B-2-⑩
	準備学習	歯科衛生学シリーズ 保存修復学・歯内療法学 P. 99～110の事前学習	
第 5 回	◎加藤 千景	ラミネートベニア修復 歯の漂白法 ラミネートベニア修復および歯の漂白法の特徴、術式、診療補助について理解する。	1. ラミネートベニア修復について説明する。 専門B-2-④ 2. 歯の漂白法について説明する。 専門B-2-⑦、専門E-3-5) -①②③
	準備学習	歯科衛生学シリーズ 保存修復学・歯内療法学 P. 71～78の事前学習	
第 6 回	◎加藤 千景	根管治療 2 根管洗浄、根管消毒、仮封、ニッケルチタンロータリーファイルの概要、特徴および使用法について理解する。	1. 根管の化学的、機械的清掃を説明する。 専門B-2-⑮、専門E-3-7) -①③ 2. 根管の消毒（貼薬）を説明する。 専門B-2-⑮、専門E-3-7) -①③ 3. 歯内療法で行う仮封を説明する。専門E-2-5) -①② 4. ニッケルチタンロータリーファイルについて説明する。 専門B-2-⑮
	準備学習	歯科衛生学シリーズ 保存修復学・歯内療法学 4章②の事前学習	

第7回	◎加藤 千景	根管充填法 歯内療法最終過程である 根管充填法の要件、術式、 器具・器材、薬剤について 理解する。	1. 根管充填の時期を決定する要件を説明する。 専門B-2-⑯⑰ 2. 根管充填法の術式を説明する。専門B-2-⑯⑰ 3. 根管充填法に用いる器具器材を説明する。 専門E-3-7)-③ 4. 根管充填材除去を説明する。専門B-2-⑯
	準備学習	歯科衛生学シリーズ 保存修復学・歯内療法学 4章③の事前学習	
第8回	◎加藤 千景	根未完成歯の歯内療法、病的 吸収、歯の外傷 根未完成歯の歯内療法、病的 吸収、歯の外傷の概要、 特徴および術式について理 解する。	1. 根未完成歯の歯内療法を説明する。 専門B-2-⑰ 2. 歯根の病的吸収を説明する。 専門B-2-⑱ 3. 歯の外傷の分類、検査、治療を説明する。専門E-2 - ⑲
	準備学習	歯科衛生学シリーズ 保存修復学・歯内療法学 4章④、6章の事前学習	
第9回	◎加藤 千景	外科的歯内療法 外科的歯内療法の適応症と 術式について理解する。	1. 外科的歯内療法の適応症を説明する。専門B-2-⑱ 2. 外科的歯内療法の術式を説明する。専門B-2-⑱、 専門E-3-8)-①
	準備学習	歯科衛生学シリーズ 保存修復学・歯内療法学 5章の事前学習	
第10回	◎加藤 千景	歯内療法における安全対策 歯内療法における偶発事故 と対処法について理解する。	1. 歯内療法の偶発事故を説明する。専門B-2-⑳
	準備学習	歯科衛生学シリーズ 保存修復学・歯内療法学 7章の事前学習	
第11回	◎高塩 智子	歯周基本治療（1） ・歯周基本治療の目的と効 果を理解する。 ・歯周基本治療の内容を理 解する。	1. 歯周基本治療の目的を説明する。 2. 歯周基本治療の項目を列記する。 3. 歯周基本治療を説明する。 専門B-3-48
	準備学習	歯科衛生学シリーズ歯周病学Ⅱ編歯周治療の実際 3章の要点を確認する。	
第12回	◎高塩 智子	歯周基本治療（2） ・歯周病の薬物療法を理解 する。 歯周外科治療（1） ・歯周外科治療の目的と分 類を理解する。 ・歯周外科治療後の治療形 態を理解する。 ・歯周外科治療に用いる器 材を理解する。	1. 歯周病の薬物治療を説明する。 専門B-3-48 2. 歯周外科治療の種類と適応症を説明する。 専門B-3-5 3. 歯周外科治療後の治療形態を説明する。 専門B-3-5 4. 歯周外科治療に用いる器具を説明する。 専門B-3-6、E-3-9)-12
	準備学習	歯科衛生学シリーズ歯周病学Ⅱ編歯周治療の実際 3章の要点、4章①～③を確認する。	
第13回	◎高塩 智子	歯周外科治療（2） ・組織付着療法、切除療法 を理解する。 ・歯周組織再生療法、歯周 形成手術を理解する。	1. 歯周外科治療の種類と適応症を説明する。 専門B-3-5
	準備学習	歯科衛生学シリーズ歯周病学Ⅱ編歯周治療の実際 4章4の要点を確認する。	

第14回	◎高塩 智子	根分岐部病変の治療、歯周-歯内病変、口腔機能回復治療 ・根分岐部病変を理解する。 ・歯周-歯内病変を理解する。 ・口腔機能回復治療を理解する。	1. 根分岐部病変の治療と適応症を説明する。 専門B-3-5 2. 歯周-歯内病変を概説する。 専門B-3-1 3. 口腔機能回復治療を説明する。 専門B-3-7
	準備学習	歯科衛生学シリーズ歯周病学Ⅱ編歯周治療の実際 4 章p. 115～117、5 章の要点を確認する。	
第15回	◎高塩 智子	メンテナンス ・メンテナンス、SPT を理解する。	1. 歯周治療後のメンテナンス・SPT の意義を説明する。 専門B-3-9
	準備学習	歯科衛生学シリーズ歯周病学Ⅱ編歯周治療の実際 6 章の要点を確認する。	

授業科目名

臨床歯科医学Ⅲ（歯科補綴学）

授業形態

講義

授業責任者

◎浅沼 直樹

学年

第2学年

学期

前期

曜日

月曜日

授業時間

13:00～14:20

授業概要

歯科補綴治療の目的は人工物（補綴装置）を用いた口腔の諸機能の回復と残存組織の保全であり、その治療対象は極めて広く治療内容も多種多様である。講義では、まず歯科補綴治療の目的を達成するために必要な顎口腔系の形態と機能を理解し、そのうえで患者固有の形態と機能に調和した補綴装置とはどのようなものかを考える。また、各種補綴装置の特徴と治療手順を学び、歯科衛生士が各臨床ステップにおいて診療補助や患者指導を通じてどのように補綴治療に関与していくかを修得する。

一般目標（GIO）

歯科補綴治療時の円滑な歯科衛生士業務を行うために、顎口腔系機能、歯科補綴装置および治療法の基本的知識を修得する。

学習成果（ディプロマ・ポリシー）

- ☐ ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- ☐ ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- ☐ ③ 歯科衛生の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- ☐ ④ 歯科衛生士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- ☐ ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果（カリキュラム・ポリシー）

- ☐ ① 全人的視点から口腔の健康支援をするための基礎教育と専門教育を行う。
- ☐ ② 豊かな人間性、社会性、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- ☐ ③ 協調性、責任感、奉仕の精神を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
- ☐ ④ 専門化・高度化する保健・医療・福祉に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- ☐ ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書

歯科衛生学シリーズ 歯科補綴学（医歯薬出版）、授業用プリント

参考書

歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論（医歯薬出版）
 歯科衛生学シリーズ 歯科材料（医歯薬出版）

アクティブ・ラーニング（複数選択可）

- ☐ PBL ☐ ディベート ☐ ディスカッション
- ☐ フィールドワーク ☐ プレゼンテーション
- ☐ その他（ ）

成績評価の方法と割合

- ☐ 定期試験（50%） ☐ 提出物（ノート・レポート）（ %）
- ☐ ポートフォリオ（ %） ☐ 成果発表（口頭・実技）（ %）
- ☐ その他（臨時試験）（50%）

定期試験、臨時試験は、一般目標で示した項目についての多選択肢形式筆記試験（80%）と論述試験（20%）にて実施し評価を行う。再試験、追試験は必要に応じて実施することがある。

オフィスアワー

金曜日・17:00～18:00・6号館1階浅沼教授室 ※事前にメールで要予約（asanuma@ngt.ndu.ac.jp）

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標（SBOs）
第1回	◎浅沼 直樹	歯科補綴学の概要	1. 歯科補綴治療の意義と目的を説明する。 2. 歯科補綴治療の特徴と歯科衛生士の役割を説明する。 3. 補綴装置の種類を説明する。 専門B-4-②,⑬
	準備学習	教科書Ⅰ編1章歯科補綴の概要の要点を確認する。	
第2回	◎浅沼 直樹	歯科補綴治療の基礎知識（1）	1. 歯列弓の形態について説明する。 2. 咬合彎曲の種類と特徴について説明する。 3. 咬合平面について説明する。 専門B-4-①
	準備学習	教科書Ⅰ編2章歯科補綴治療の基礎知識の要点を確認する。	
第3回	◎浅沼 直樹	歯科補綴治療の基礎知識（2）	1. 対合関係について説明する。 2. 顎運動と咬合様式について説明する。 専門B-1-2)-②、専門B-4-①
	準備学習	教科書Ⅰ編2章歯科補綴治療の基礎知識の要点を確認する。	
第4回	◎浅沼 直樹	歯科補綴治療の基礎知識（3）	1. 補綴学的基準平面について説明する。 2. 咀嚼運動について説明する。 専門B-4-①
	準備学習	教科書Ⅰ編2章歯科補綴治療の基礎知識の要点を確認する。	
第5回	◎浅沼 直樹	歯科補綴治療の基礎知識（4）	1. 嚥下の過程について説明する 2. 顎関節の構造・機能と病態について説明する。 専門B-4-①
	準備学習	教科書Ⅰ編2章歯科補綴治療の基礎知識の要点を確認する。	
第6回	◎浅沼 直樹	クラウン治療（1）	1. クラウンの分類と特徴について説明する。 2. 全部被覆冠の分類と特徴について説明する。 専門B-4-②
	準備学習	教科書Ⅱ編2章①クラウン・ブリッジ治療の概要を確認する。	
第7回	◎浅沼 直樹	クラウン治療（2）	1. 部分被覆冠の分類と特徴について説明する。 2. ポストクラウンの特徴について説明する。 専門B-4-②
	準備学習	教科書Ⅱ編2章①クラウン・ブリッジ治療の概要を確認する。	
第8回	◎浅沼 直樹	ブリッジ治療（1）	1. ブリッジ治療の特徴について説明する。 専門B-4-⑥ 2. ブリッジの分類について説明する。 専門B-4-②,④
	準備学習	教科書Ⅱ編2章①クラウン・ブリッジ治療の概要を確認する。	
第9回	◎浅沼 直樹	ブリッジ治療（2）	1. ブリッジの支台装置について説明する。 専門B-4-⑦ 2. ボンテックの種類と特徴について説明する。 専門B-4-⑦ 2. CAD/CAMクラウン・ブリッジ治療の特徴について説明する。 専門B-4-⑫
	準備学習	教科書Ⅱ編2章①クラウン・ブリッジ治療の概要を確認する。	

第10回	◎浅沼 直樹	全部床義歯治療	1.全部床義歯の特徴について説明する。 2.全部床義歯の構成要素について説明する。 専門B-4-④
	準備学習	教科書Ⅱ編3章①全部床義歯治療治療の概要を確認する。	
第11回	◎浅沼 直樹	部分床義歯治療（1）	1.部分床義歯の分類について説明する。 専門B-4-② 2.部分床義歯の支台装置（クラスプ）について説明する。 専門B-4-④
	準備学習	教科書Ⅱ編3章④部分床義歯治療治療の概要を確認する。	
第12回	◎浅沼 直樹	部分床義歯治療（2）	1.部分床義歯の支台装置（アタッチメント）について説明する。 専門B-4-② 2.部分床義歯の連結子について説明する。 専門B-4-④
	準備学習	教科書Ⅱ編3章④部分床義歯治療治療の概要を確認する。	
第13回	◎浅沼 直樹	有床義歯治療の流れ（1）	1.有床義歯治療の流れおよび技工操作を説明する。 専門B-4-⑨ 2.有床義歯治療に用いる材料と方法を説明する。 専門B-4-③,⑩,⑪
	準備学習	教科書Ⅰ編2章歯科補綴治療の基礎知識の要点を確認する。	
第14回	◎浅沼 直樹	有床義歯治療の流れ（2）	1.有床義歯治療の流れおよび技工操作を説明する。 専門B-4-⑨ 2.有床義歯治療に用いる材料と方法を説明する。 専門B-4-③,⑩,⑪
	準備学習	教科書Ⅱ編3章②,⑤の要点を確認する。	
第15回	◎浅沼 直樹	患者への説明と指導	1.補綴治療時の患者指導について説明する。 2.補綴装置の管理法について説明する。 専門B-4-⑭
	準備学習	歯科補綴学教科書のⅡ編2章②,3章②,⑤患者への説明と指導の要点を確認する。	

授業科目名

臨床歯科医学Ⅳ(口腔外科学・歯科麻酔学)

授業形態

講義

授業責任者

◎小根山 隆浩、◎高橋 靖之

学年

第2学年

学期

前期

曜日

金曜日

授業時間

13:00～14:20

口腔外科は歯・顎・口腔状態の診察および同部の疾患、傷害の予防と治療を目的とする分野であり、そのためには歯科および医科的知識と手技が必要とされる。したがって口腔外科学は医学と歯学との接点あるいは共同の場であるといえる。また、社会的ニーズからも、口腔外科学的知識と素養はすべての歯科医師に広く求められるようになり、歯科医療・保健を担う歯科衛生士にとっても口腔外科は重要なテーマとなっている。そこで本講義では、種々の疾患(先天異常・変形、損傷、炎症、腫瘍、嚢胞など)の病態、治療法などの理解に加えて、患者の全身状態の把握に必要な知識の修得を行う。

一般目標(GIO)

歯学および一般医学的知識と手技が必要とされる口腔外科診療に対応するため、全身を診ることのできる幅広い知識を修得する。

学習成果(ディプロマ・ポリシー)

- ☐ ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- ☐ ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- ☐ ③ 歯科衛生の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- ☐ ④ 歯科衛生士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- ☐ ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果(カリキュラム・ポリシー)

- ☐ ① 全人的視点から口腔の健康支援をするための基礎教育と専門教育を行う。
- ☐ ② 豊かな人間性、社会性、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- ☐ ③ 協調性、責任感、奉仕の精神を身に付けるための臨床・臨床実習を行う。
- ☐ ④ 専門化・高度化する保健・医療・福祉に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- ☐ ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書

【最新歯科衛生士教本】(医歯薬出版) 顎・口腔粘膜疾患 口腔外科・歯科麻酔

参考書**アクティブ・ラーニング(複数選択可)**

- ☐ PBL ☐ ディベート ☐ ディスカッション
- ☐ フィールドワーク ☒ プレゼンテーション
- ☐ その他()

成績評価の方法と割合

- ☐ 定期試験(100%) ☐ 提出物(ノート・レポート)(%)
- ☐ ポートフォリオ(%)
- ☐ 成果発表(口頭・実技)(%)
- ☐ その他()(%)

一般目標で示した項目についての多選択肢形式筆記試験(100%)により評価を行う。再試験、追試験は必要に応じて実施することがある。

オフィスアワー

E-mail: oneyama@ngt.ndu.ac.jp(小根山隆浩)
新潟病院口腔外科(病院2階)
木曜日・17:00～18:00・3号館2階口腔外科医局、※事前にメールで要予約

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
第1回	◎小根山 隆浩	口腔外科の概要 ・ 本授業の進め方 (ガイド ンス) ・ 顎口腔領域に生じる各種 疾患を習得する。 ・ 口腔病変と全身疾患の関 係について習得する。	1. 口腔外科の概要を知る。 2. 顎・口腔領域に生じる各種疾患を説明する。 3. 口腔病変と全身疾患の関係を説明する。 専門B-5-①
	準備学習	教科書の該当ページを読む。	
第2回	◎小根山 隆浩	顎口腔領域の先天異常と発 育異常 ・ 先天異常 (口唇・口蓋裂 など) と発育異常 (顎変形 症など) の病態、治療法 を習得する。	1. 先天異常 (口唇・口蓋裂など) と発育異常 (顎変形症 など) の症状と治療法を説明する。 専門B-5-②
	準備学習	教科書の該当ページを読む。	
第3回	◎小根山 隆浩	顎口腔領域の損傷および機 能障害 ・ 損傷 (歯の外傷、歯槽骨 骨折、顎骨骨折、軟組織損 傷など) の症状、治療法 を習得する。	1. 歯の外傷、歯槽骨骨折、顎骨骨折および軟組織損傷の 症状と治療法を説明する。 専門B-5-③
	準備学習	教科書の該当ページを読む。	
第4回	◎小根山 隆浩	口腔粘膜の病変 ・ 口腔粘膜疾患の種類と治 療法を習得する。 ・ 口腔に症状を現す血液疾 患の病態や症状を習得する。	1. 各種口腔粘膜疾患の種類と症状および治療法を説明す る。 2. 口腔に症状を現す血液疾患 (貧血、白血病、血友病、 特発性血小板減少性紫斑病、播種性血管内凝固亢進症候 群 (DIC) など) の特徴を説明する。 専門B-5-④⑪
	準備学習	教科書の該当ページを読む。	
第5回	◎斎藤 芳秀	歯科麻酔学とは 歯科領域における救急蘇生 法	歯科治療時の全身的偶発症 (神経性ショック、過換気症 候群、アナフィラキシーショック、低血糖発作、高血圧 緊急症、脳血管障害、誤飲・誤嚥) とその対応を説明で きる。(専門B-6 - ④)
	準備学習	顎・口腔粘膜疾患 口腔外科歯科麻酔P206～215を予習・復習する。	
第6回	◎小根山 隆浩	顎口腔領域の化膿性疾患 ・ 歯槽部、顎骨および周囲 組織の炎症 (菌性感染) の 原因、感染経路と症状およ び治療法を習得する。	1. 歯槽部、顎骨および周囲組織の炎症 (菌性感染) の原因、 感染経路と症状および治療法を説明する。 専門B-5-⑤
	準備学習	教科書の該当ページを読む。	
第7回	◎小根山 隆浩	顎口腔領域の嚢胞性疾患 ・ 顎骨および口腔軟組織に 発生する嚢胞の種類と症状 および治療法を習得する。	1. 顎骨および口腔軟組織に発生する嚢胞の種類と症状お よび治療法を説明する。 専門B-5-⑥
	準備学習	教科書の該当ページを読む。	

第8回	◎小根山 隆浩	顎口腔領域の良性腫瘍と悪性腫瘍、周術期口腔機能管理 ・顎口腔領域の良性腫瘍、悪性腫瘍、腫瘍類似疾患の種類と症状および治療法を習得する。 ・顎口腔領域の周術期（放射線治療、化学療法を含む）の口腔健康管理を習得する。	1. 顎口腔領域の良性腫瘍、悪性腫瘍、腫瘍類似疾患の種類と症状および治療法を説明する。 2. 顎口腔領域の周術期（放射線治療、化学療法を含む）の口腔健康管理を説明する。 専門B-5-⑦⑯
	準備学習	教科書の該当ページを読む。	
第9回	◎小根山 隆浩	顎関節疾患と唾液腺疾患 ・顎関節疾患（脱臼、顎関節症、顎関節強直症など）の症状と治療法を習得する。 ・唾液腺疾患（唾液腺炎、流行性耳下腺炎、唾石症、唾液腺腫瘍）の症状と治療法を習得する。	1. 顎関節疾患（脱臼、顎関節症、顎関節強直症など）の症状と治療法を説明する。 2. 唾液腺疾患（唾液腺炎、流行性耳下腺炎、唾石症、唾液腺腫瘍）の症状と治療法を説明する。 専門B-5-⑧⑨
	準備学習	教科書の該当ページを読む。	
第10回	◎小根山 隆浩	顎口腔領域の神経疾患と口腔心身症 ・顎口腔領域の神経疾患（三叉神経痛、三叉神経麻痺、顔面神経麻痺、舌痛症、オーラルディスキネジアなど）の症状を習得する。 ・口腔（歯科）心身症（舌痛症、歯科治療恐怖症など）の特徴を習得する。	1. 顎口腔領域の神経疾患（三叉神経痛、三叉神経麻痺、顔面神経麻痺、舌痛症、オーラルディスキネジアなど）の症状を説明する。 2. 口腔（歯科）心身症（舌痛症、歯科治療恐怖症など）の特徴を説明する。 専門B-5-⑩⑫
	準備学習	教科書の該当ページを読む。	
第11回	◎小根山 隆浩	拔牙と口腔外科小手術 ・拔牙・口腔外科小手術（消炎手術、止血処置、歯槽骨整形術、根尖切除術、嚢胞摘出術・嚢胞開窓術、骨折手術、口腔インプラント手術）の手順を習得する。 ・拔牙の適応と禁忌を習得する。 ・拔牙・口腔外科小手術の術中・術後の局所的偶発症および術後の注意を習得する。	1. 拔牙・口腔外科小手術（消炎手術、止血処置、歯槽骨整形術、根尖切除術、嚢胞摘出術・嚢胞開窓術、骨折手術、口腔インプラント手術）の手順を説明する。 2. 拔牙の適応と禁忌を説明する。 3. 拔牙・口腔外科小手術の術中・術後の局所的偶発症および術後の注意を説明する。 専門B-5-⑬⑭⑮
	準備学習	教科書の該当ページを読む。	
第12回	◎井口 麻美	歯科における局所麻酔法ならびに局所麻酔薬の種類 血管収縮薬と添加する意義 有病者と局所麻酔	局所麻酔法と施術時の注意点を説明できる（専門B-6 - ③） バイタルサイン、経皮的動脈血酸素飽和度（SpO ₂ ）、意識レベルを説明できる（専門B-6 - ②）
	準備学習	顎・口腔粘膜疾患 口腔外科歯科麻酔P185～190を予習・復習する。	
第13回	◎原 基	局所麻酔の局所的・全身的偶発症 精神鎮静法	局所麻酔の種類と目的ならびに全身的・局所的偶発症を説明できる（専門B-6 - ①） 精神鎮静法の適応症と種類を説明できる（専門B-6 - ⑤）
	準備学習	顎・口腔粘膜疾患 口腔外科歯科麻酔P191～199を予習・復習する。	

第14回	◎井口 麻美	呼吸の生理 循環の生理	バイタルサイン、経皮的動脈血酸素飽和度（SpO ₂ ）、意識レベルを説明できる（専門B-6 - ②） 全身麻酔の適応症と種類を概説できる（専門B-6 - ⑥）
	準備学習	顎・口腔粘膜疾患 口腔外科歯科麻酔P174～184を予習・復習する。	
第15回	◎高橋 靖之	全身麻酔法 歯科におけるペインクリニック	全身麻酔の適応症と種類を概説できる（専門B-6 - ⑥）
	準備学習	顎・口腔粘膜疾患 口腔外科歯科麻酔P200～205を予習・復習する。	

授業科目名

臨床歯科学Ⅴ(矯正歯科学)

授業形態

講義

授業責任者

◎長谷川 優

学年

第2学年

学期

前期

曜日

金曜日

授業時間

9:00～10:20

授業概要

歯科矯正学では、一般的な不正咬合に加えて、唇顎口蓋裂など顎顔面の奇形を伴う先天性疾患や顎変形症(顎顔面の非対称、骨格性上顎前突・下顎前突・開咬など)の治療に必要な知識を学ぶ。
 歯科衛生士は、成長発育、不正咬合の原因、診査検査、予防、治療を理解し、矯正歯科臨床において、資料採取、矯正装置の使用方法的説明、口腔保健管理、口腔防機能療法の指導などの業務を遂行する。矯正歯科治療は長期間にわたることが多く、患者との信頼関係を維持して効果的な治療に寄与するためには、幅広くかつ質の高い知識が要求される。この講義では、矯正歯科臨床における歯科衛生士業務に必要な知識を広く修得する。

一般目標(GIO)

患者の健康と生活の質の向上に資するために、不正咬合の予防と治療に関する歯科矯正学と矯正歯科治療の知識を習得する。

学習成果(ディプロマ・ポリシー)

- ☐ ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- ☐ ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- ☐ ③ 歯科衛生士の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- ☐ ④ 歯科衛生士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- ☐ ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果(カリキュラム・ポリシー)

- ☐ ① 全人的視点から口腔の健康支援するための基礎教育と専門教育を行う。
- ☐ ② 豊かな人間性、社会性、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- ☐ ③ 協調性、責任感、奉仕の精神を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
- ☐ ④ 専門化・高度化する保健・医療・福祉に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- ☐ ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書

【歯科衛生学シリーズ】(医歯薬出版) 歯科矯正学 第2版

参考書**アクティブ・ラーニング(複数選択可)**

- ☐ PBL ☐ ディベート ☐ ディスカッション
- ☐ フィールドワーク ☐ プレゼンテーション
- ☐ その他()

成績評価の方法と割合

- ☐ 定期試験(100%) ☐ 提出物(ノート・レポート)(%)
- ☐ ポートフォリオ(%)
- ☐ 成果発表(口頭・実技)(%)
- ☐ その他()(%)

客観的試験による総合的評価(100%)

オフィスアワー

E-mail: haseyu@ngt.ndu.ac.jp
 新潟短期大学研究室Ⅳ(3号館3階)
 オフィスアワーは特に設けませんので、まずはE-mailにてご連絡下さい。

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
第1回	◎長谷川 優	＜矯正歯科治療の概要＞ 矯正歯科治療の目的と歯科衛生士の役割を理解する。	歯科衛生業務を行うために必要な不正咬合の診断および治療法を理解する。専門分野B-8
	準備学習	授業内容と関連する教科書のページに、図表も含めて目を通しておいください。授業は教科書に沿って進めていきます。	
第2回	◎長谷川 優	＜身体の成長発育、頭蓋および顎顔面の成長発育＞ 身体の成長発育の過程と評価方法を理解する。 頭蓋および顎顔面の成長発育のしくみと過程を理解する。	各年齢における小児の正常な成長発達に関する事項を説明する。専門分野B-8-② 顎・顔面の成長発育とその障害を説明する。専門分野B-8-①
	準備学習	授業内容と関連する教科書のページに、図表も含めて目を通しておいください。授業は教科書に沿って進めていきます。	
第3回	◎長谷川 優	＜正常咬合と不正咬合＞ 正常咬合と不正咬合の定義と種類を理解する。	年齢に応じた正常咬合（乳歯列から永久歯列）を説明する。専門分野B-8-② 不正咬合の種類を列挙する。専門分野B-8-③
	準備学習	授業内容と関連する教科書のページに、図表も含めて目を通しておいください。授業は教科書に沿って進めていきます。	
第4回	◎長谷川 優	＜不正咬合の原因と予防（1）＞ 不正咬合の先天的原因と後天的原因を理解する。不正咬合の予防を理解する。	不正咬合の原因と障害を把握し、矯正治療の目的を説明する。専門分野B-8-④
	準備学習	授業内容と関連する教科書のページに、図表も含めて目を通しておいください。授業は教科書に沿って進めていきます。	
第5回	◎長谷川 優	＜不正咬合の原因と予防（2）＞ 不正咬合の先天的原因と後天的原因を理解する。不正咬合の予防を理解する。	不正咬合の原因と障害を把握し、矯正治療の目的を説明する。専門分野B-8-④
	準備学習	授業内容と関連する教科書のページに、図表も含めて目を通しておいください。授業は教科書に沿って進めていきます。	
第6回	◎長谷川 優	＜矯正歯科診断＞ 矯正歯科診断に必要な資料と症例分析の概要を理解する。	口腔内・顔面写真の撮影手順を説明する。 頭部エックス線規格写真のトレース法を説明する。 矯正用口腔模型の作製法を説明できる。 専門分野E-6-2)
	準備学習	授業内容と関連する教科書のページに、図表も含めて目を通しておいください。授業は教科書に沿って進めていきます。	
第7回	◎長谷川 優	＜矯正力・整形力・保定＞ 矯正歯科治療が生体に及ぼす形態的および機能的変化について理解する。	矯正力と歯の移動時の生体反応を説明する。専門分野B-8-⑤
	準備学習	授業内容と関連する教科書のページに、図表も含めて目を通しておいください。授業は教科書に沿って進めていきます。	

第8回	◎長谷川 優	<矯正装置> 矯正装置の種類、構造、使用目的および作用機序を理解する。	不正咬合の治療に適した装置を識別し、その構造、機能を説明する。専門分野B-8-⑥
	準備学習	授業内容に関連する教科書のページに、図表も含めて目を通しておいください。授業は教科書に沿って進めていきます。	
第9回	◎長谷川 優	<矯正歯科治療の実際> 矯正歯科治療の手順と歯科衛生士の役割を理解する。	歯科衛生業務を行うために必要な不正咬合の診断および治療法を理解する。専門分野E-6
	準備学習	授業内容に関連する教科書のページに、図表も含めて目を通しておいください。授業は教科書に沿って進めていきます。	
第10回	◎長谷川 優	<矯正歯科診断にかかわる業務> 矯正診断に用いる資料の採取と分析の方法を理解する。	口腔内・顔面写真の撮影手順を説明する。専門分野E-6-2)-① 頭部エックス線規格写真のトレース法を説明する。専門分野E-6-2)-② 歯科矯正用口腔模型の作製法を説明する。専門分野E-6-2)-③
	準備学習	授業内容に関連する教科書のページに、図表も含めて目を通しておいください。授業は教科書に沿って進めていきます。	
第11回	◎長谷川 優	<矯正歯科診療時の業務(1)> 矯正歯科治療に用いる器具・材料の準備と取り扱い方を理解する。	矯正歯科治療に用いる器具・器材とその取り扱いについて説明する。専門分野B-8-⑦、E-6-1) 矯正歯科治療の補助に必要な治療手順、薬剤および器材の使用法に関する知識を習得する。専門分野B-8-⑦、E-6-1)
	準備学習	授業内容に関連する教科書のページに、図表も含めて目を通しておいください。授業は教科書に沿って進めていきます。	
第12回	◎長谷川 優	<矯正歯科診療時の業務(2)> マルチブラケット装置に関わる器具・材料の準備と取り扱い方を理解する。	矯正装置の装着と撤去に必要な器具・器材の準備をする。専門分野E-6-1)
	準備学習	授業内容に関連する教科書のページに、図表も含めて目を通しておいください。授業は教科書に沿って進めていきます。	
第13回	◎長谷川 優	<矯正歯科患者と口腔保健管理> 矯正装置の使用法と不快事項への対処方法を説明できるように保健指導の要点を理解する。	矯正歯科治療時の口腔内状況を評価し、適切な口腔内管理方法を説明する。専門分野B-8-⑧
	準備学習	授業内容に関連する教科書のページに、図表も含めて目を通しておいください。授業は教科書に沿って進めていきます。	
第14回	◎長谷川 優	<口腔筋機能療法> 口腔習癖が原因となる不正咬合と習癖の防止法を理解する。	矯正歯科治療時の口腔内状況を評価し、適切な口腔内管理方法を説明する。専門分野B-8-⑧
	準備学習	授業内容に関連する教科書のページに、図表も含めて目を通しておいください。授業は教科書に沿って進めていきます。	

第15回	◎長谷川 優	<総括> 矯正歯科治療の初診から治療終了までの流れと各段階での歯科衛生士の役割を理解する。	歯科衛生業務を行うために必要な不正咬合の診断および治療法を理解する。専門分野 B- 8 2. 矯正歯科治療の補助に必要な治療手順、薬剤および器具・器材の使用法に関する知識を習得する。専門分野 E- 6
	準備学習	授業内容と関連する教科書のページに、図表も含めて目を通しておいください。授業は教科書に沿って進めていきます。	

授業科目名

臨床歯科学VI(小児歯科学)

授業形態

講義

授業責任者

◎長谷川 優

学年

第2学年

学期

前期

曜日

火曜日

授業時間

13:00～14:20

授業概要

小児は、身体的、精神的、社会的に発達途上にあるので、その成長発達を理解して個性にもとづく健全な成長発達を誘導しなければならない。小児の歯科治療では、歯科衛生士と歯科医師、患者、保護者の緊密な連携が重要である。そのため、歯科衛生士には、歯科学は言うに及ばず、心理学、保育学、行動科学などの広範な知識を備え、小児歯科臨床において知識を活かした対応をすることが求められている。この講義は、成長発達、小児への歯科的対応、小児歯科の診療体系など、小児の歯科治療に必要な知識の修得を目的とする。

一般目標(GIO)

小児歯科臨床の一翼を担うために、小児の成長発達、顎顔面・口腔の疾患や異常の予防と治療を理解し、小児の歯科診療に必要な知識を系統立てて習得する。

学習成果(ディプロマ・ポリシー)

- ☐ ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- ☐ ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- ☐ ③ 歯科衛生の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- ☐ ④ 歯科衛生士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- ☐ ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果(カリキュラム・ポリシー)

- ☐ ① 全人的視点から口腔の健康支援をするための基礎教育と専門教育を行う。
- ☐ ② 豊かな人間性、社会性、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- ☐ ③ 協調性、責任感、奉仕の精神を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
- ☐ ④ 専門化・高度化する保健・医療・福祉に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- ☐ ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書

【歯科衛生学シリーズ】(医歯薬出版) 小児歯科学

参考書**アクティブ・ラーニング(複数選択可)**

- ☐ PBL ☐ ディベート ☐ ディスカッション
- ☐ フィールドワーク ☐ プレゼンテーション
- ☐ その他()

成績評価の方法と割合

- ☐ 定期試験(100%) ☐ 提出物(ノート・レポート)(%)
- ☐ ポートフォリオ(%)
- ☐ 成果発表(口頭・実技)(%)
- ☐ その他()(%)

客観的試験による総合的評価(100%)

オフィスアワー

E-mail: haseyu@ngt.ndu.ac.jp
 新潟短期大学研究室IV(3号館3階)
 オフィスアワーは特に設けませんので、まずはE-mailにてご連絡下さい。

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標（SBOs）
第1回	◎長谷川 優	心身の発育（1） 小児の発育段階を理解する。 小児期を分類し、その特徴を理解する。	小児の正常な身体的成長発育とその障害を説明する。専門B-7-① 小児歯科と成人歯科の違いを説明する。専門B-7-②
	準備学習	授業内容と関連する教科書のページに、図表も含めて目を通しておいってください。授業は教科書に沿って進めていきます。	
第2回	◎長谷川 優	心身の発育（2） 小児の生理的特長 小児期を分類し、その特徴を理解する。 小児の発育の評価法を理解する。	各年齢における小児の正常な心理的発達とその障害を説明する。専門B-7-③
	準備学習	授業内容と関連する教科書のページに、図表も含めて目を通しておいってください。授業は教科書に沿って進めていきます。	
第3回	◎長谷川 優	顎顔面および頭蓋の成長発育 脳頭蓋、顔面頭蓋の発育の特徴を理解する	歯列および咬合の正常発育とその障害を説明する。専門B-7-⑤
	準備学習	授業内容と関連する教科書のページに、図表も含めて目を通しておいってください。授業は教科書に沿って進めていきます。	
第4回	◎長谷川 優	＜歯の発育とその異常＞ 乳歯と幼若永久歯の特徴を理解する。	乳歯と幼若永久歯の解剖学的特徴を説明する。専門分野B-7-⑥
	準備学習	授業内容と関連する教科書のページに、図表も含めて目を通しておいってください。授業は教科書に沿って進めていきます。	
第5回	◎長谷川 優	＜歯列咬合の発育と異常＞ 各歯列期の特徴を理解する。	歯列および咬合の成長発育とその障害を説明する。専門B-7-⑤
	準備学習	授業内容と関連する教科書のページに、図表も含めて目を通しておいってください。授業は教科書に沿って進めていきます。	
第6回	◎長谷川 優	＜小児の歯科疾患（1）＞ 齲蝕の病因と予防法を理解する。 乳歯と幼若永久歯の齲蝕の違いを理解する。	小児齲蝕の特徴、齲蝕予防および進行抑制法を説明する。専門B-7-⑦ 乳歯と幼若永久歯の歯冠修復法ならびに歯内療法を説明する。専門B-7-⑧
	準備学習	授業内容と関連する教科書のページに、図表も含めて目を通しておいってください。授業は教科書に沿って進めていきます。	
第7回	◎長谷川 優	＜小児の歯科疾患（2）＞ 小児の歯科疾患を理解する。	小児の口腔外科的疾患を説明する。専門B-7-⑨ 小児の歯の外傷の種類と処置法を説明する。専門B-7-⑩ 咬合誘導の概念ならびに保険装置の種類、適応症および留意点を説明する。専門B-7-⑪
	準備学習	授業内容と関連する教科書のページに、図表も含めて目を通しておいってください。授業は教科書に沿って進めていきます。	

第8回	◎長谷川 優	<小児期の特徴と歯科的問題点> <小児歯科における患者との対応法> 小児歯科と成人歯科との対応法の違いを理解する。	成人歯科と小児歯科の違いを説明する。専門B-7-②
	準備学習	授業内容と関連する教科書のページに、図表も含めて目を通しておいください。授業は教科書に沿って進めていきます。	
第9回	◎長谷川 優	小児歯科における診療体系（1） 小児歯科診療の特徴を理解する。	小児齲蝕の特徴、齲蝕予防および進行抑制法を説明する。専門B-7-⑦ 乳歯と幼若永久歯の歯冠修復法ならびに歯内療法を説明する。専門B-7-⑧
	準備学習	授業内容と関連する教科書のページに、図表も含めて目を通しておいください。授業は教科書に沿って進めていきます。	
第10回	◎長谷川 優	<小児歯科における診療体系（2）> 小児歯科診療の特徴を理解する。	小児の口腔外科的疾患を説明する。専門B-7-⑨ 小児の歯の外傷の種類と処置法を説明する。専門B-7-⑩ 咬合誘導の概念ならびに保険装置の種類、適応症および留意点を説明する。専門B-7-⑪
	準備学習	授業内容と関連する教科書のページに、図表も含めて目を通しておいください。授業は教科書に沿って進めていきます。	
第11回	◎長谷川 優	<障害児の歯科治療> 障害児への対応と歯科診療を理解する。	障害児の歯科治療を説明する。専門分野B-10-③
	準備学習	授業内容と関連する教科書のページに、図表も含めて目を通しておいください。授業は教科書に沿って進めていきます。	
第12回	◎長谷川 優	<診察・検査時の業務> <齲蝕予防（1）> 小児歯科におけるブラークコントロールの意義を理解する。	小児齲蝕の特徴、齲蝕予防および進行抑制法を説明する。専門B-7-⑦
	準備学習	授業内容と関連する教科書のページに、図表も含めて目を通しておいください。授業は教科書に沿って進めていきます。	
第13回	◎長谷川 優	<齲蝕予防（2）> <小児歯科診療における診療補助（1）> 小児におけるフッ化物の応用について理解する。小児歯科診療の流れと歯科衛生士の役割を理解する。咬合誘導の概念と処置法を理解する。	小児齲蝕の特徴、齲蝕予防および進行抑制法を説明する。専門B-7-⑦ 咬合誘導の概念ならびに保険装置の種類、適応症および留意点を説明する。専門B-7-⑪
	準備学習	授業内容と関連する教科書のページに、図表も含めて目を通しておいください。授業は教科書に沿って進めていきます。	
第14回	◎長谷川 優	<小児歯科診療における診療補助（2）> 小児歯科診療の流れと歯科衛生士の役割を理解する。	成人歯科と小児歯科の違いを説明する。専門B-7-②
	準備学習	授業内容と関連する教科書のページに、図表も含めて目を通しておいください。授業は教科書に沿って進めていきます。	

第15回	◎長谷川 優	<小児の口腔保健管理・歯科診療室と器具・器材の管理> <総括> 小児歯科の特徴と目的を理解する。	小児齲蝕の特徴、齲蝕予防および進行抑制法を説明する。 専門B-7-⑦
	準備学習	授業内容と関連する教科書のページに、図表も含めて目を通しておいください。授業は教科書に沿って進めていきます。	

授業科目名

臨床歯科医学Ⅶ(高齢者歯科学)

授業形態

講義

授業責任者

◎高橋 靖之

学年

第2学年

学期

前期

曜日

火曜日

授業時間

14:40～16:00

授業概要

高齢者歯科は、歯科医療を通して高齢者の健康増進を図ることを目的とした臨床科目である。超高齢社会となった我が国において、高齢者歯科への需要は益々増加することが予想される。老化という誰も避けて通れない生理的な生理現象を理解した上で、高齢者に対する歯科的取り組みを学習する。

一般目標(GIO)

高齢者および要介護者に対する歯科診療の困難性・環境・全身的特性・心理的特性を理解し、臨床に必要な知識を習得する。

学習成果(ディプロマ・ポリシー)

- ☐ ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- ☐ ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- ☐ ③ 歯科衛生の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- ☐ ④ 歯科衛生士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- ☐ ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果(カリキュラム・ポリシー)

- ☐ ① 全人的視点から口腔の健康支援をするための基礎教育と専門教育を行う。
- ☐ ② 豊かな人間性、社会性、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- ☐ ③ 協調性、責任感、奉仕の精神を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
- ☐ ④ 専門化・高度化する保健・医療・福祉に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- ☐ ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書

【歯科衛生学シリーズ】高齢者歯科学 第1版(医歯薬出版)

参考書

【歯科衛生士教本】高齢者歯科学 第2版(医歯薬出版)
 【歯科衛生士教本】顎・口腔粘膜疾患 口腔外科・歯科麻酔(医歯薬出版)

アクティブ・ラーニング(複数選択可)

- ☐ PBL ☐ ディベート ☐ ディスカッション
- ☐ フィールドワーク ☐ プレゼンテーション
- ☐ その他()

成績評価の方法と割合

- ☐ 定期試験(80%) ☐ 提出物(ノート・レポート)(%)
- ☐ ポートフォリオ(%)
- ☐ 成果発表(口頭・実技)(%)
- ☐ その他(出席)(20%)

高齢者を歯科の分野から直接および間接的に支えるための様々な方略を考えて行くことが大切です。
 配布したプリントは、テスト勉強にも役立ちますので大切に保管しましょう。

オフィスアワー

yacchin@ngt.ndu.ac.jp 近温病院 歯科麻酔・全身管理科医局にて、授業終了後

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
第1回	◎高橋靖之	高齢者歯科学と歯科衛生士の役割 I 高齢者を取りまく社会と環境	①人口の超高齢化による社会環境の変化を説明できる (専門 -①) ②高齢者のための社会保障と保健・医療・福祉を説明できる (専門 -②)
	準備学習	【歯科衛生学シリーズ】 高齢者歯科学 P 1 ～43の予習・復習	
第2回	◎齋藤芳秀	II 加齢による身体的・精神的変化と疾患	③全身および口腔の加齢と老化を説明できる (専門 -③)
	準備学習	【歯科衛生学シリーズ】 高齢者歯科学 P46～63の予習・復習	
第3回	◎原 基	高齢者の栄養状態 高齢者の薬物療法	⑤高齢者の生活機能を低下させる全身疾患を説明できる (専門 -⑤) ⑥高齢者の歯科治療時に注意すべき全身疾患を説明できる (専門 -⑥)
	準備学習	【歯科衛生学シリーズ】 高齢者歯科学 P122～137の予習・復習	
第4回	◎井口 麻美	高齢者に多い全身疾患・障害および口腔疾患 高齢者歯科と臨床検査	⑤高齢者の生活機能を低下させる全身疾患を説明できる (専門 -⑤) ⑥高齢者の歯科治療時に注意すべき全身疾患を説明できる (専門 -⑥)
	準備学習	【歯科衛生学シリーズ】 高齢者歯科学 P64～113、P114～121の予習・復習	
第5回	◎高田 正典	II 章 高齢者に多い全身疾患・障害および口腔疾患、 III 高齢者の状態把握	⑤高齢者の生活機能を低下させる全身疾患を説明できる (専門 -⑤) ⑥高齢者の歯科治療時に注意すべき全身疾患を説明できる (専門 -⑥)
	準備学習	【歯科衛生学シリーズ】 高齢者歯科学 P83～113の予習・復習	
第6回	◎高田 正典	V 摂食嚥下リハビリテーション	⑦高齢者の歯科治療時における介助と安全管理を説明できる (専門 -⑦) ⑧歯科訪問診療を説明できる (専門 -⑧) ⑨高齢者の摂食嚥下障害の原因と症状を説明できる (専門 -⑧)
	準備学習	【歯科衛生学シリーズ】 高齢者歯科学 P202～227の予習・復習	
第7回	◎宮崎 晶子	VI 高齢者に関わる医療と介護	⑥高齢者の歯科治療時における介助と安全管理を説明できる (専門 -⑥) ⑦要介護高齢者の歯科衛生時の注意点が説明できる (専門 -⑦) ⑧在宅医療を説明できる (専門 -⑧)
	準備学習	準備学習【歯科衛生学シリーズ】 高齢者歯科学 P228～277の予習・復習	
第8回	◎宮崎 晶子	VII 高齢者に関わる歯科衛生士の実践	⑤高齢者における口腔健康管理の用具と処置を説明できる (専門 -⑤) ⑪摂食嚥下リハビリテーションを説明できる (専門 -⑪) ⑫栄養管理や食形態の調整を説明できる (専門 -⑫)
	準備学習	【歯科衛生学シリーズ】 高齢者歯科学 P280～312の予習・復習	
第9回	◎高橋 靖之	IV 口腔機能管理①	②高齢者のための社会保障と保健・医療・福祉を説明できる (専門 -②)
	準備学習	【歯科衛生学シリーズ】 高齢者歯科学 P140～197、P313～327の予習・復習	

第10回	◎高橋 靖之	Ⅳ 口腔機能管理②	②高齢者のための社会保障と保健・医療・福祉を説明できる（専門 -②）
	準備学習	【歯科衛生学シリーズ】高齢者歯科学 P140～197、P313～327の予習・復習	

授業科目名

臨床歯科医学Ⅷ(障害者歯科学)

授業形態

講義

授業責任者

◎北澤 裕美

学年

第2学年

学期

前期

曜日

火曜日

授業時間

14:40～16:00

授業概要

障害者歯科とは身体障害、知的能力障害、精神障害のため通常の歯科医療を受けることが困難な場合、その障害を考慮して対応する歯科医療であり、障害をもって生きる人に歯科医療の立場から支援することである。この講義では障害者の身体的、心理的および精神的特徴を学び、障害者歯科医療での歯科衛生士の役割について理解を深める。

一般目標(GIO)

歯科衛生業務を行うために必要な障害者の身体的、精神的および心理的特徴と歯科治療上の留意点を習得する。それにより診療スタッフと共同で円滑に障害者の歯科診療が行えるようになることを目標とする。

学習成果(ディプロマ・ポリシー)

- ☐ ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- ☐ ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- ☐ ③ 歯科衛生の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- ☐ ④ 歯科衛生士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- ☐ ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果(カリキュラム・ポリシー)

- ☐ ① 全人的視点から口腔の健康支援をするための基礎教育と専門教育を行う。
- ☐ ② 豊かな人間性、社会性、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- ☐ ③ 協調性、責任感、奉仕の精神を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
- ☐ ④ 専門化・高度化する保健・医療・福祉に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- ☐ ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書

歯科衛生学シリーズ 障害者歯科学 第1版(医歯薬出版)

参考書

歯科衛生士のための障害者歯科 第3版(医歯薬出版)

アクティブ・ラーニング(複数選択可)

- ☐ PBL ☐ ディベート ☐ ディスカッション
- ☐ フィールドワーク ☐ プレゼンテーション
- ☐ その他()

成績評価の方法と割合

- ☐ 定期試験(100%) ☐ 提出物(ノート・レポート)(%)
- ☐ ポートフォリオ(%) ☐ 成果発表(口頭・実技)(%)
- ☐ その他()(%)

定期試験(客観試験、筆記試験)(100点)

オフィスアワー

授業終了後

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
第 1 回	◎北澤裕美	障害者概論	1. ノーマライゼーション、バリアフリー、ICFの概念を説明する。(専門B-10 - ①) 2. 障害者の医療制度・福祉制度について説明する。(専門B-10 - ③)
	準備学習	教科書の該当ページを読んで予習する。	
第 2 回	◎北澤裕美	障害者各論① ・神経発達症群	1. 神経発達症群について説明する。(専門B-10 - ②④) 2. 神経発達症群の歯科的対応を説明する。(専門B-10 - ⑤⑥)
	準備学習	前回の講義内容を配布プリントおよび教科書で復習する。また、教科書の該当ページを読んで予習する。	
第 3 回	◎北澤裕美	障害者各論② ・運動障害 (神経・筋系疾患)	1. 運動障害(神経・筋系疾患)について説明する。(専門B-10 - ②④) 2. 運動障害(神経・筋系疾患)の歯科的対応を説明する。(専門B-10 - ⑤～⑦)
	準備学習	前回の講義内容を配布プリントおよび教科書で復習する。また、教科書の該当ページを読んで予習する。	
第 4 回	◎北澤裕美	障害者各論③ ・感覚障害・音声言語障害	1. 感覚障害・音声言語障害について説明する。(専門B-10 - ②④) 2. 感覚障害・音声言語障害の歯科的対応を説明する。(専門B-10 - ⑤⑥)
	準備学習	前回の講義内容を配布プリントおよび教科書で復習する。また、教科書の該当ページを読んで予習する。	
第 5 回	◎北澤裕美	障害者各論④ ・摂食・嚥下障害	1. 摂食・嚥下障害について説明する。(専門B-10 - ⑧) 2. 摂食・嚥下障害の歯科的対応を説明する。(専門B-10 - ⑧)
	準備学習	前回の講義内容を配布プリントおよび教科書で復習する。また、教科書の該当ページを読んで予習する。	
第 6 回	◎北澤裕美	障害者各論⑤ ・精神障害 ・歯科診療時に配慮すべき疾患	1. 精神障害について説明する。(専門B-10 - ②④) 2. 精神障害の歯科的対応について説明する。(専門B-10 - ⑤⑥) 3. てんかんの特徴について説明する。(専門B-10 - ②④) 4. てんかん患者の歯科的対応について説明する。(専門B-10 - ⑤～⑦)
	準備学習	前回の講義内容を配布プリントおよび教科書で復習する。また、教科書の該当ページを読んで予習する。	
第 7 回	◎北澤裕美	障害者の行動調整① ・障害者の非薬物的対応	1. 障害者の行動調整法を説明する。(専門B-10 - ⑤) 2. 障害者の非薬物的対応方法を説明する。(専門B-10 - ⑤⑥)
	準備学習	前回の講義内容を配布プリントおよび教科書で復習する。また、教科書の該当ページを読んで予習する。	

第 8 回	◎北澤裕美	障害者の行動調整② ・ 障害者の薬物的対応	1． 障害者の行動調整法を説明する。 (専門 B-10 - ⑤) 2． 障害者の薬物的対応方法を説明する。 (専門 B-10 - ⑤⑥)
	準備学習	前回の講義内容を配布プリントおよび教科書で復習する。また、教科書の該当ページを読んで予習する。	

授業科目名

歯科予防処置演習Ⅲ

授業形態

演習

授業責任者

◎嵐 聖芽

学年

第2学年

学期

前期

曜日

水曜日

授業時間

13:00～16:00

授業概要

歯科予防処置は、保健指導とともに歯科衛生士の職務の根幹となるものである。しかもそれは、知識とともに“手技”を伴っていて、これは自らが一つ一つ積み上げて身につけていくより仕方のないものである。手技は確かに難しいところはあるが、基本的なことから順序よく積み上げていけば、必ず自分のものにすることができる。本実習では、1年次に履修した知識、技術を踏まえ、それを患者さんに応用できるような総合能力を、マネキン実習・相互実習を通して修得する。

一般目標 (GIO)

歯科予防処置の基礎知識を基に、歯科予防処置の手技を患者に安全に提供するために必要な器具・材料・薬品の使用法について実践に即した実習を行う。それにより、患者に対してそれを応用・駆使できる技能を修得する。

学習成果 (ディプロマ・ポリシー)

- ☐ ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- ☐ ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- ☐ ③ 歯科衛生士の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- ☐ ④ 歯科衛生士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- ☐ ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果 (カリキュラム・ポリシー)

- ☐ ① 全人的視点から口腔の健康支援をするための基礎教育と専門教育を行う。
- ☐ ② 豊かな人間性、社会性、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- ☐ ③ 協調性、責任感、奉仕の精神を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
- ☐ ④ 専門化・高度化する保健・医療・福祉に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- ☐ ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書

【最新歯科衛生士教本】(医歯薬出版)
歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版

参考書

【最新歯科衛生士教本】(医歯薬出版)
歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1 保健生態学 第3版
歯周病学 第2版

アクティブ・ラーニング (複数選択可)

- ☐ PBL ☐ ディベート ☐ ディスカッション
- ☐ フィールドワーク ☐ プレゼンテーション
- ☐ その他 ()

成績評価の方法と割合

- ☐ 定期試験 (40%) ☐ 提出物 (ノート・レポート) (10%)
- ☐ ポートフォリオ (%) ☐ 成果発表 (口頭・実技) (50%)
- ☐ その他 () (%)

本実習の内容は、すべて臨床の場で実際に患者さんに対して行うものです。“患者さんのために”安全で適切な対応ができるよう、積極的に学んでください。1年生で学んだ内容を基に行いますので、よく復習をして実習に臨みましょう。

オフィスアワー

E-mail: kiyoka@ngt.ndu.ac.jp (嵐 聖芽) 新潟短期大学研究室Ⅱ (3号館2階)
E-mail: springsea@ngt.ndu.ac.jp (清野可那子) 新潟短期大学研究室Ⅱ (3号館2階)
実習終了後E-mailにて連絡し確認してください。

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
第1回	◎嵐 聖芽	偶発事故・感染予防とその対策 メンテナンスとSPT (講義)	1. 予防処置における偶発事故とその対策を説明する。 2. 感染予防対策を説明する。 3. SPTの目的、処置内容を説明する。 4. SPT実施時の注意点を説明する。 専門C-2-5) -①②③ 5. 歯周病におけるメンテナンスの目的を説明する。 6. メンテナンス時の評価項目を説明する。 専門C-2-6) -①②
	準備学習	歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 の該当箇所を確認して参加する。	
第2回	◎清野 可那子 ◎嵐 聖芽 ◎池田 裕子	歯周病の検査 (講義) 動揺度・根分岐部病変診査 (マネキン実習)	1. 歯周病の検査法を説明する。 2. 歯周病の検査結果を説明する。 専門B-3-③、専門C-2-2) -⑤ 3. 動揺度を測定する。 4. 根分岐部病変の検査を実施する。
	準備学習	歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 の該当箇所を確認して参加する。	
第3回	◎清野 可那子 ◎嵐 聖芽 ◎池田 裕子	口腔内診査 (相互実習)	1. 全顎のポケット測定をする。 2. 歯肉出血指数を算出する。 3. 動揺度を測定する。
	準備学習	第2回のプリントと、歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 の該当箇所を確認して参加する。	
第4回	◎嵐 聖芽 ◎清野 可那子 ◎池田 裕子	フッ化ジアンミン銀塗布法 (講義・マネキン実習)	1. フッ化ジアンミン銀の効果を知る。 2. フッ化ジアンミン銀溶液の特徴を理解する。
	準備学習	1年次の歯科予防処置論で学んだフッ化ジアンミン銀塗布の内容を復習の上、参加すること。	
第5回	◎清野 可那子 ◎嵐 聖芽 ◎池田裕子 ◎榎 志佳	小窩裂溝填塞法	1. 小窩裂溝填塞を実施する。 専門C-3-6) -④ 2. 小窩裂溝填塞の術式を説明できる。 専門C-3-6) -③ 3. 小窩裂溝填塞実施上の注意点を説明する。 専門C-3-6) -⑤ 4. 小窩裂溝填塞におけるメンテナンスの目的および必要性を理解する。 専門C-3-7) -①③
	準備学習	1年次の歯科予防処置演習Ⅱで実習をした顎模型上の小窩裂溝填塞法の内容を復習の上、参加すること。	
第6回	◎嵐 聖芽	超音波スケーラー・エアスケーラー・歯面清掃器 (講義)	1. 超音波スケーラーの使用目的、特徴を説明する。 2. エアスケーラーの使用目的、特徴を説明する。 3. 歯面清掃器の使用目的、特徴を説明する。 専門C-2-4) -①②
	準備学習	歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版の該当箇所を確認して参加する。	
第7回	◎嵐 聖芽 ◎清野 可那子 ◎池田 裕子	超音波スケーラー・エアスケーラー・歯面清掃器 (マネキン実習)	1. 超音波スケーラーで歯石除去を実施する。 2. エアスケーラーで歯石除去を実施する。 専門C-2-3) -③④ 3. 感染予防対策を実施する。 専門E-1-6) -①
	準備学習	第6回のプリントと、歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版の該当箇所を確認して参加する。	

第8回	◎煤賀 美緒 ◎宮崎 晶子 ◎嵐 聖芽 ◎清野 可那子	ケーススタディ (1)	1. 症例患者のデータから口腔内の問題点を列挙する。 2. 症例患者のデータから生活習慣の問題点を列挙する。 3. 口腔内の問題点を解決するための指導を立案する。 4. 生活習慣改善のための指導を立案する。 専門C-1-2) -①、3) -①②⑤⑥、専門C-2-1) -①、2) -②④、専門C-3-1) -①、5) -③、専門D-2-1) -①⑤、3) -①、専門D-3-1) -①②③、2) -①②③、専門D-4-2) -①③、3) -④
	準備学習	教科書を含めた文献を読み、う蝕と歯周病について理解を深めた上で参加すること。	
第9回	◎煤賀 美緒 ◎宮崎 晶子 ◎嵐 聖芽 ◎清野 可那子	ケーススタディ (2)	1. 症例患者のデータから口腔内の問題点を列挙する。 2. 症例患者のデータから生活習慣の問題点を列挙する。 3. 口腔内の問題点を解決するための指導を立案する。 4. 生活習慣改善のための指導を立案する。 専門C-1-2) -①、3) -①②⑤⑥、専門C-2-1) -①、2) -②④、専門C-3-1) -①、5) -③、専門D-2-1) -①⑤、3) -①、専門D-3-1) -①②③、2) -①②③、専門D-4-2) -①③、3) -④
	準備学習	教科書を含めた文献を読み、う蝕と歯周病について理解を深めた上で参加すること。	
第10回	◎嵐 聖芽 ◎清野 可那子 ◎池田 裕子	SRP (講義) スケーリング (マネキン実習)	1. SRPの目的を説明する。 2. SRPに使用する器具を説明する。 3. SRPの注意事項を説明する。 4. スケーラーの種類と使用部位を説明できる。 5. 鋭利な器具を安全に操作する。 6. 部位に応じたスケーリング操作をする。 専門C-2-3) -①
	準備学習	1 年次の歯科予防処置演習Ⅰのプリントと、歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版の該当箇所を確認して参加する。	
第11回	◎嵐 聖芽 ◎清野 可那子 ◎池田 裕子	スケーリング (相互実習)	1. 鋭利な器具を安全に操作する。 2. 部位に応じたスケーリング操作をする。 3. 手用スケーラーを操作できる。 専門C-2-3) -② 4. スケーリング前の患者教育を行う。 5. スケーリング後の患者教育を行う。 6. 歯面研磨を行う。 専門C-2-4) -⑤
	準備学習	1 年次の歯科予防処置演習Ⅰのプリントと、歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版の該当箇所を確認して参加する。	
第12回	◎嵐 聖芽 ◎清野 可那子 ◎池田 裕子	シャープニング	1. シャープニングの目的を説明する。 2. 必要な器材を知る。 3. シックルタイプスケーラーをシャープニングする。 4. ユニバーサルタイプキュレットをシャープニングする。 5. グレーシータイプキュレットをシャープニングする。 6. 鋭利度の判定をする。
	準備学習	1 年次の歯科予防処置演習Ⅰのプリントと、歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版の該当箇所を確認して参加する。	
第10回	◎清野 可那子 ◎嵐 聖芽 ◎池田 裕子	PMT C (講義・相互実習)	1. PMT Cの目的を説明する。 2. PMT Cの使用器具を理解する。 3. PMT Cの術式を理解する。 専門C-2-4) -①②
	準備学習	歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版の該当箇所を確認して参加する。	

第14回	◎嵐 聖芽 ◎清野 可那子 ◎池田 裕子	メンテナンス (相互実習)	1. 全顎のポケット測定をする。 2. 動揺度を測定する。 3. 歯周病の検査結果を説明する。 専門B-3-③、専門C-2-2)-⑤ 4. 鋭利な器具を安全に操作する。 5. 部位に応じたスケーリング操作をする。 6. 手用スケーラーを操作できる。 専門C-2-3)-② 7. スケーリング前の患者教育を行う。 8. スケーリング後の患者教育を行う。 9. 歯面研磨を行う。 専門C-2-4)-⑤
	準備学習	第1回から第12回までのプリントと、歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版の該当箇所を確認して参加する。	
第15回	◎嵐 聖芽 ◎清野 可那子 ◎池田 裕子	メンテナンス (相互実習)	1. 全顎のポケット測定をする。 2. 動揺度を測定する。 3. 歯周病の検査結果を説明する。 専門B-3-③、専門C-2-2)-⑤ 4. 鋭利な器具を安全に操作する。 5. 部位に応じたスケーリング操作をする。 6. 手用スケーラーを操作できる。 専門C-2-3)-② 7. スケーリング前の患者教育を行う。 8. スケーリング後の患者教育を行う。 9. 歯面研磨を行う。 専門C-2-4)-⑤
	準備学習	第1回から第12回までのプリントと、歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版の該当箇所を確認して参加する。	

授業科目名

歯科保健指導演習Ⅱ

授業形態

演習

授業責任者

◎煤賀 美緒

学年

第2学年

学期

前期

曜日

木曜日

授業時間

9:00～12:00

授業概要

保健・医療・福祉の分野において、現代はQOL向上を目指す時代となった。歯科医療においても治療から予防重視となり、ヘルスプロモーションの考えが基盤となっている。このような背景を踏まえ本実習では、現代社会のニーズに対応できる歯科衛生士を目指すため、一年次で修得した基本的な内容をもとに、より実践的な歯科保健指導に関する知識・技術・態度を修得する。

一般目標(GIO)

人々を望ましい歯科保健行動変容へ導くために、個人および集団の状況に合わせた指導ができる知識・技術・態度を修得する。

学習成果(ディプロマ・ポリシー)

- ☐ ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- ☐ ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- ☐ ③ 歯科衛生の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- ☐ ④ 歯科衛生士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- ☐ ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果(カリキュラム・ポリシー)

- ☐ ① 全人的視点から口腔の健康支援をするための基礎教育と専門教育を行う。
- ☐ ② 豊かな人間性、社会性、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- ☐ ③ 協調性、責任感、奉仕の精神を身に付けるための臨床・臨床実習を行う。
- ☐ ④ 専門化・高度化する保健・医療・福祉に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- ☐ ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書

歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論(医歯薬出版)

参考書

歯科衛生学シリーズ 高齢者歯科
歯科衛生学シリーズ 保健生態学

アクティブ・ラーニング(複数選択可)

- ☐ PBL ☐ ディベート ☐ ディスカッション
- ☐ フィールドワーク ☐ プレゼンテーション
- ☐ その他()

成績評価の方法と割合

- ☐ 定期試験(20 %) ☐ 提出物(ノート・レポート)(10 %)
- ☐ ポートフォリオ(%) ☐ 成果発表(口頭・実技)(40 %)
- ☐ その他(OSCE)(30 %)

示説、実習内容の範囲の記述試験(20%)、実技試験およびプレゼンテーション(40%)、OSCE(30%)およびその他レポートや各課題の提出状況(10%)により評価する。記述試験に関して、追試験は実施する場合があるが、再試験は実施しない。

オフィスアワー

月～金曜日 16:00～18:00 (3号館2階 研究室Ⅱ) 連絡先: mio@ngt.ndu.ac.jp

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
第1回	◎煤賀 美緒 ◎清野可那子 ◎宮崎 晶子 ◎榎 志佳	補助用具の説明・指導	1. 指導の環境を整える。 2. 説明指導にあたり同意をとる。 3. 口腔清掃の必要性を説明する。 4. 補助用具の必要性を説明する。 5. 患者主体の重要性を説明する。 6. 説明指導で効果的に媒体を用いる。 7. 患者の理解度を確認する。 8. 分かりやすい言葉遣いで話す。 9. 聞き取りやすい話し方で話す。 10. 指導内容の要約をする。 専門D-2-4)-②、専門D-3-1)-②、専門D-3-2)-②③、 専門D-3-3)-①②
	準備学習	歯間ブラシ、デンタルフロス(指巻き法)の適応や使用方法を要復習の上で実習に臨むこと。	
第2回	◎煤賀 美緒 ◎清野可那子 ◎宮崎 晶子 ◎榎 志佳	補助用具の説明・指導 実技試験	1. 指導の環境を整える。 2. 説明指導にあたり同意をとる。 3. 口腔清掃の必要性を説明する。 4. 補助用具の必要性を説明する。 5. 患者主体の重要性を説明する。 6. 説明指導で効果的に媒体を用いる。 7. 患者の理解度を確認する。 8. 分かりやすい言葉遣いで話す。 9. 聞き取りやすい話し方で話す。 10. 指導内容の要約をする。 専門D-2-4)-②、専門D-3-1)-②、専門D-3-2)-②③、 専門D-3-3)-①②
	準備学習	第1回の内容を要復習し、十分な自己練習の上で試験に臨むこと。	
第3回	◎煤賀 美緒	PℓI、PHP(講義)	1. PℓI、PHPの目的を列挙する。 2. PℓI、PHPの診査方法を説明する。 3. PℓI、PHOのスコア評価基準を説明する。 4. PℓI、PHPの算出方法を説明する。 専門D-2-3)-①
	準備学習	教科書の【PℓI、PHP】に関する内容を一読する。	
第4回	◎煤賀 美緒 ◎清野可那子	PℓI	1. PℓIの診査を行う。 2. PℓIのチャートを記入する。 3. PℓIを算出する。 専門D-2-3)-①②、専門D-3-2)-①
	準備学習	第3回の内容を要復習の上で実習に臨むこと。	
第5回	◎煤賀 美緒 ◎清野可那子	PHP	1. PHPの診査を行う。 2. PHPのスコアを判定する。 3. PHPを算出する。 専門D-2-3)-①②、専門D-3-2)-①
	準備学習	第3回の内容を要復習の上で実習に臨むこと。	
第6回	◎煤賀 美緒 ◎清野可那子	口腔状況に応じた 説明・指導	1. PℓIの診査結果から口腔衛生状態を分析する。 2. 対象者に必要な指導内容を立案する。 3. 対象者に診査結果を説明する。 4. 対象者に口腔清掃方法を指導する。 専門D-2-1)-①、2)-①、3)-①、3-2)-①～⑤、3)- ①③
	準備学習	第4回で得たデータを分析し、説明・指導内容を立案しておくこと。	

第7回	◎煤賀 美緒	健康教育（小集団指導） （講義）	1. 地域での健康教育の特徴について述べる。 2. 対象となる小集団の特徴について述べる。 3. 健康教育の計画の進め方について説明する。 4. 媒体の特徴を列挙する。 5. 対象集団に応じた指導計画を立案する。 6. 対象集団、指導内容に合わせた媒体を製作する。 専門D-1-1）-①②、専門D-7-1）-①⑤⑥、専門D-7-2）-③
	準備学習	教科書の【地域歯科保健活動における健康教育】に関する内容を一読のこと。	
第8回	◎煤賀 美緒	口腔のケア（講義）	1. 要介護高齢者の全身の特徴を述べる。 2. 要介護高齢者の歯科の特徴を述べる。 3. 誤嚥性肺炎について説明する。 4. 口腔のケアの目的を述べる。 5. 口腔のケア時の留意点を説明する。 専門D-2-2）-①②、専門D-3-4）-①、専門D-4-3）-③
	準備学習	教科書（保健指導、高齢者）の【要介護高齢者】【要介護高齢者に対する口腔ケア】に関する内容を一読のこと。	
第9回	◎煤賀 美緒 ◎嵐 聖芽 ◎宮崎 晶子 ◎清野可那子	ケーススタディ（1）	1. 症例患者のデータから口腔内の問題点を列挙する。 2. 症例患者のデータから生活習慣の問題点を列挙する。 3. 口腔内の問題点を解決するための指導を立案する。 4. 生活習慣改善のための指導を立案する。 専門C-1-2）-①、3）-①②⑤⑥、専門C-2-1）-②、2）-②④、専門C-3-1）-①、5）-③、専門D-2-1）-①⑤、3）-①、専門D-3-1）-①②③、2）-①②③、専門D-4-2）-①③、3）-④
	準備学習	「幼児期」「成人期」について要復習の上で授業に臨むこと。 教科書の【禁煙支援】に関する内容を一読のこと。 授業時間外もグループメンバーと十分に検討し、次の発表に必要な内容をまとめること。	
第10回	◎煤賀 美緒 ◎嵐 聖芽 ◎宮崎 晶子 ◎清野可那子	ケーススタディ（2）	1. 症例患者のデータから口腔内の問題点を列挙する。 2. 症例患者のデータから生活習慣の問題点を列挙する。 3. 口腔内の問題点を解決するための指導を立案する。 4. 生活習慣改善のための指導を立案する。 5. 指導計画を発表し他グループと情報を共有する。 専門C-1-2）-①、3）-①②⑤⑥、専門C-2-1）-②、2）-②④、専門C-3-1）-①、5）-③、専門D-2-1）-①⑤、3）-①、専門D-3-1）-①②③、2）-①②③、専門D-4-2）-①③、3）-④
	準備学習	発表に向けた資料作成やプレゼンテーションの練習を十分に行い授業に臨むこと。	
第11回	◎煤賀 美緒 ◎宮崎 晶子	口腔のケア（1） ・ベッド上 ・車椅子上	1. 対象者の全身状態を把握する。 2. 安全で安楽な姿勢に整える。 3. 口腔乾燥に配慮した口腔ケアを実施する。 4. 炎症に配慮した口腔ケアを実施する。 5. 口腔内の貯留物をこまめに回収する。 6. 含嗽助に必要用具を自作する。 専門D-2-2）-①②、専門D-3-4）-①③、専門D-4-3）-③
	準備学習	第8回の内容を要復習の上で実習に臨むこと。	

第12回	◎煤賀 美緒 ◎宮崎 晶子	口腔のケア（２） ・ベッド上 ・車椅子上	1. 対象者の全身状態を把握する。 2. 安全で安楽な姿勢に整える。 3. 口腔乾燥に配慮した口腔ケアを実施する。 4. 炎症に配慮した口腔ケアを実施する。 5. 口腔内の貯留物をこまめに回収する。 6. 含嗽介助に必要な用具を自作する。 専門D-2-2）-①②、専門D-3-4）-①③、専門D-4-3）-③
	準備学習	第8回の内容を要復習の上で実習に臨むこと。	
第13回	◎煤賀 美緒 ◎宮崎 晶子	口腔のケア（３） ・ベッド上 ・車椅子上	1. 対象者の全身状態を把握する。 2. 安全で安楽な姿勢に整える。 3. 口腔乾燥に配慮した口腔ケアを実施する。 4. 炎症に配慮した口腔ケアを実施する。 5. 口腔内の貯留物をこまめに回収する。 6. 含嗽介助に必要な用具を自作する。 専門D-2-2）-①②、専門D-3-4）-①③、専門D-4-3）-③
	準備学習	第8回の内容を要復習の上で実習に臨むこと。	
第14回	◎煤賀 美緒 ◎清野可那子 ◎宮崎 晶子	健康教育（小集団指導） 発表	1. 対象集団に応じたテーマを指導する。 2. 集団指導に適した話し方で話す。 3. 集団の反応を確認しながら指導する。 4. 効果的に媒体を使用する。 5. 指導を受ける対象者の立場を理解する。 専門D-3-4）-②③、専門D-7-1）-①～⑦、専門D-7-2）-①～⑬
	準備学習	第7回の内容を要復習の上で実習に臨むこと。 授業時間外で媒体作成を進め十分に練習を行うこと。	

授業科目名

歯科診療補助演習Ⅲ

授業形態

演習

授業責任者

◎土田 智子

学年

第2学年

学期

前期

曜日

水曜日

授業時間

9:00～12:00

授業概要

歯科診療補助は社会的情勢や歯科医療の高度化にともなって歯科衛生士としての専門性を多く発揮できる領域である。歯科診療補助を行うためには、基礎的理論と基礎的技術の理解が必要である。そこで本演習では、診療環境のマネジメントや歯科診療の流れを理解した上でのアシスタントワークを学ぶ。

一般目標(GIO)

複雑多岐にわたる歯科診療行為において、より効果的な共同動作を実践するために、あらゆる歯科診療場面に対応する専門的知識および技能を修得し、総合的な能力と医療人としての態度・習慣を身につける。

学習成果(ディプロマ・ポリシー)

- ☐ ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- ☐ ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- ☐ ③ 歯科衛生の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- ☐ ④ 歯科衛生士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- ☐ ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果(カリキュラム・ポリシー)

- ☐ ① 全人的視点から口腔の健康支援をするための基礎教育と専門教育を行う。
- ☐ ② 豊かな人間性、社会性、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- ☐ ③ 協調性、責任感、奉仕の精神を身に付けるための臨床・臨床実習を行う。
- ☐ ④ 専門化・高度化する保健・医療・福祉に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- ☐ ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書

歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論 医歯薬出版株式会社

参考書

歯科衛生学シリーズ 歯科材料 医歯薬出版株式会社
 歯科衛生学シリーズ 歯科器械 医歯薬出版株式会社

アクティブ・ラーニング(複数選択可)

- ☐ PBL ☐ ディベート ☐ ディスカッション
- ☐ フィールドワーク ☐ プレゼンテーション
- ☐ その他()

成績評価の方法と割合

- ☐ 定期試験(20%) ☐ 提出物(ノート・レポート)(40%)
- ☐ ポートフォリオ(%) ☐ 成果発表(口頭・実技)(20%)
- ☐ その他(OSCE)(20%)

授業内で実践した項目について、定期試験はマークシートおよび記述式(20%)と、小テストやレポート(40%)、実技試験(20%)、OSCE(20%)により評価を行う。レポートに関しては提出期限を過ぎた場合には減点を行う。また、欠席した場合には、自ら報告相談を行う事。なお、再試験、追試験は必要に応じて実施することがある。

オフィスアワー

金曜日・16:00～17:00・3号館2階 研究室
 email: stj@ngt.ndu.ac.jp ※事前[にメールで要予約]

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標（SBOs）
第1回	◎土田 智子 ◎浅沼 直樹 ◎長谷川 優 ◎加藤 千景 ◎榎 志佳	ラバーダム防湿	1. 防湿法に用いる器材の名称・用途を理解する。 2. ラバーダム防湿を実施する。 専門E-3-1) ①～③
	準備学習	歯科診療補助論P99～105を参照の上、実習に参加すること。	
第2回	◎加藤 千景 ◎浅沼 直樹 ◎長谷川 優 ◎土田 智子 ◎榎 志佳	コンポジットレジン修復（1級窩洞）	1.コンポジットレジン修復の手順を説明する。 2.歯面処理材を準備する。 3.コンポジットレジン修復の前準備をする。 4.コンポジットレジン修復を実施する。 専門E-3-1) ①～⑤、3) ①～③
	準備学習	歯科診療補助論P111～114・事前配布資料を参照の上、実習に参加すること。	
第3回	◎加藤 千景 ◎浅沼 直樹 ◎長谷川 優 ◎土田 智子 ◎榎 志佳	コンポジットレジン修復（3級窩洞）	1.コンポジットレジン修復の手順を説明する。 2.歯面処理材を準備する。 3.コンポジットレジン修復の前準備をする。 4.歯冠分離に用いる材料を理解する。 5.コンポジットレジン修復を実施する。 専門E-3-1) ①～⑤、3) ①～③
	準備学習	歯科診療補助論P111～114・事前配布資料を参照の上、実習に参加すること。	
第4回	◎加藤 千景 ◎浅沼 直樹 ◎長谷川 優 ◎土田 智子 ◎榎 志佳	グラスアイオノマーセメント修復（5級窩洞）	1.グラスアイオノマーセメント修復の手順を説明する。 2.グラスアイオノマーセメント修復の前準備をする。 3.隔壁法に用いる材料を理解する。 4.グラスアイオノマーセメント修復を実施する。 専門E-3-1) ①～⑤、3) ④～⑤
	準備学習	歯科診療補助論P111～114・事前配布資料を参照の上、実習に参加すること。	
第5回	◎浅沼 直樹 ◎長谷川 優 ◎加藤 千景 ◎土田 智子 ◎榎 志佳	プロビジョナルレストレーション作成～仮着（前歯部）	1.プロビジョナルレストレーションの必要性を理解する。 2.即時重合レジンを取り扱う。 3.マイクロモーターハンドピースを取り扱う。 4.プロビジョナルレストレーションを作製する。 専門E-4-4) ①②
	準備学習	事前配布資料を参照の上、実習に参加すること。	
第6回	◎齋藤 芳秀 ◎浅沼 直樹 ◎長谷川 優 ◎加藤 千景 ◎土田 智子 ◎榎 志佳	局所麻酔の組み立て	1.局所麻酔時の器材・薬剤を準備する。 2.局所麻酔を組み立てる。 3.表面麻酔を実施する。 専門E-5-5) ①～④
	準備学習	歯科診療補助論P161～172を参照の上、実習に参加すること。	
第7回	◎浅沼 直樹 ◎土田 智子	ノータッチテクニック	1.手術時手洗いを理解する。 2.手術時手洗いを実施する。 3.滅菌グローブの着脱方法を習得する。 専門E-1-6) ①②
	準備学習	歯科診療補助論P30～31を参照の上、実習に参加すること。	
第8回	◎小根山隆浩 ◎榎 志佳	口腔外科の診療補助	1.抜歯用器材を準備する。 2.抜歯用器材を取り扱う。 3.縫合用器材を取り扱う。 3.感染予防に配慮する。 専門E-1-6) ①～④、E-5-1) ②③
	準備学習	歯科診療補助論P153～160を参照の上、実習に参加すること。	

第9回	◎高橋 靖之 ◎齋藤 芳秀 ◎加藤 千景 ◎浅沼 直樹	バイタルサイン実習	1.バイタルサインを測定する。 2.血圧、脈拍、呼吸をモニタリングする。 専門E-11- 1) ①～③
	準備学習	歯科診療補助論P78～81を参照の上、実習に参加すること。	
第10回	◎浅沼 直樹 ◎長谷川 優 ◎加藤 千景 ◎土田 智子 ◎榎 志佳	歯科材料実習	1. 合着・接着・仮着・仮封材料の種類と基本的性質を説明する。 2. 各種合着・接着・仮着・仮封材料を取り扱う。 専門E-2-2) ①②, 5) ①②
	準備学習	歯科診療補助論P222～250を参照の上、実習に参加すること。	
第11回	◎榎 志佳 ◎浅沼 直樹 ◎長谷川 優 ◎加藤 千景 ◎土田 智子	実技試験	1. 歯科材料を取り扱う。 2. 感染予防に配慮する。 3. 口腔外科治療時の前準備をする。
	準備学習	十分に自己練習したうえで臨むこと。	
第12回	◎土田 智子 ◎榎 志佳	歯内治療の診療補助	1.感染根管治療・抜髄・根管充填の術式を理解する。 2.歯内治療に使用される器具の名称・用途を理解する。 専門E-3-6) ①～③, 7) ①～④
	準備学習	歯科診療補助論P125～132を参照の上、実習に参加すること。	
第13回	◎土田 智子 ◎浅沼 直樹 ◎長谷川 優 ◎加藤 千景 ◎榎 志佳	感染根管治療～仮封	1.感染根管治療に必要な器材を準備する。 2.共同動作を実施する。 3.仮封を実施する。 専門E-2-5) ①②, E-3-6) ①～③, 7) ①～④
	準備学習	歯科診療補助論P125～132を参照の上、実習に参加すること。	
第14回	◎土田 智子 ◎浅沼 直樹 ◎長谷川 優 ◎加藤 千景 ◎榎 志佳	根管充填	1.根管充填に必要な器材を準備する。 2.共同動作を実施する。 専門E-1-4) ①～④, E-3-6) ①～③, 7) ①～④
	準備学習	歯科診療補助論P125～132を参照の上、実習に参加すること。	
第15回	◎長谷川 優 ◎浅沼 直樹 ◎加藤 千景 ◎土田 智子 ◎榎 志佳	矯正治療の診療補助	1.バンドを取り扱う。 2.ワイヤーを取り扱う。 3.ブラケットを装着する。(接着性レジンセメントによる) 4.結紮をする。 5.ディボンディングを実施する。 専門E-6-3) ①～⑫, 4) ①②
	準備学習	歯科診療補助論P173～182を参照の上、実習に参加すること。	

授業科目名

専門歯科治療概論

授業形態

講義

授業責任者

浅沼 直樹

学年

第2学年

学期

前期

曜日

火曜日

授業時間

10:40～12:00

授業概要

現在、歯科医療は多様な場面で必要とされ、その領域は広いく高度な知識や技術を必要とする専門的な分野も多い。専門歯科治療概論では、日本歯科大学新潟病院に設置されている診療科・特殊外来・診療センターの概要や関連する基本事項を学ぶことにより、患者のニーズに沿った専門的歯科治療の理解を深める。

一般目標(GIO)

歯科における専門的治療を理解するために、日本歯科大学新潟病院の各特殊外来、センターにおける対象疾患、治療の内容などの基本的な知識を修得する。

学習成果(ディプロマ・ポリシー)

- ☐ ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- ☐ ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- ☐ ③ 歯科衛生の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- ☐ ④ 歯科衛生士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- ☐ ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果(カリキュラム・ポリシー)

- ☐ ① 全人的視点から口腔の健康支援をするための基礎教育と専門教育を行う。
- ☐ ② 豊かな人間性、社会性、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- ☐ ③ 協調性、責任感、奉仕の精神を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
- ☐ ④ 専門化・高度化する保健・医療・福祉に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- ☐ ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書

講義用プリント

参考書**アクティブ・ラーニング(複数選択可)**

- ☐ PBL ☐ ディベート ☐ ディスカッション
- ☐ フィールドワーク ☐ プレゼンテーション
- ☐ その他()

成績評価の方法と割合

- ☐ 定期試験(100%) ☐ 提出物(ノート・レポート)(%)
- ☐ ポートフォリオ(%)
- ☐ 成果発表(口頭・実技)(%)
- ☐ その他()(%)

一般目標で示した項目についての多選択形式筆記試験(90%)と、記述試験(10%)により評価を行う。再試験、追試験は必要に応じて実施することがある。

オフィスアワー

金曜日・17:00～18:00・6号館1階浅沼教授室 ※事前にメールで要予約(asanuma@ngt.ndu.ac.jp)

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
第1回	白野 美和	訪問歯科口腔ケア科 ・訪問診療の進め方	1. 歯科訪問診療の意義と目的を説明する。 専門B-9-①,⑧ 2. 高齢者の全身疾患と口腔疾患の特徴を説明する。 専門B-9-③ 3. 高齢者の摂食嚥下リハビリテーションを説明する。 専門B-9-⑨,⑪ 4. 高齢者の誤嚥性肺炎の原因と口腔健康管理を説明する。 専門B-9-⑪
	準備学習	授業用プリントを読んでおくこと。	
第2回	海老原 隆	白い歯外来 ・変色歯の基本的な対処法	1. 歯の変色の原因と処置法を説明する。 専門B-2-⑦ 2. 漂白法の適応症と種類を説明する。 専門E-3-5)-①,② 3. 漂白法の手順と使用器材・薬剤を概説する。 専門E-3-5)-③,④ 4. 漂白後の指導内容を述べる。 専門E-3-5)-⑤
	準備学習	授業用プリントを読んでおくこと。	
第3回	猪子 芳美	睡眠歯科センター ・睡眠医学、睡眠時無呼吸症候群との歯科医療の関わり	1. 睡眠医学の概要を説明する。 2. 睡眠時無呼吸症候群との歯科医療の関わりを説明する。
	準備学習	授業用プリントを読んでおくこと。	
第4回	井口 麻美	歯科鎮静リラックス外来 ・歯科診療時の緊張がもたらす弊害とリラックスの効果	1. 麻酔の目的について説明する。 専門B-6-① 2. 精神鎮静法・全身麻酔の適応症と種類を説明する。 専門B-6-⑤,⑥
	準備学習	授業用プリントを読んでおくこと。	
第5回	三瓶 伸也	障害児・者歯科センター ・障害児・者歯科医療	1. 障害児者の概要を説明する。 専門B-10-①,② 2. 障害児者の歯科医療について説明する。 専門B-10-④,⑤,⑥
	準備学習	授業用プリントを読んでおくこと。	
第6回	小根山 隆浩	歯科アレルギー治療外来 ・歯科アレルギーの検査、治療法	1. アレルギーについて説明する。 専門基礎C-2-2)-⑥ 2. 歯科におけるアレルギー疾患を列挙する。 3. アレルギー疾患の検査および治療法について説明する。 専門A・4)-①
	準備学習	授業用プリントを読んでおくこと。	
第7回	渥美 陽二郎	スポーツ歯科外来 ・マウスガードに関する適応症、製作法	1. スポーツ医学のなかの歯科の関わりを説明する。 2. マウスガードの適応症、製作法について説明する。 3. 歯・口腔の外傷の予防を説明する。 専門基礎D-2-7)-⑨ 4. アンチ・ドーピングの概略と歯科治療で注意すべきことを説明する。
	準備学習	授業用プリントを読んでおくこと。	

第8回	大森 みさき	いき息さわやか外来 ・口臭の原因、検査、診断、 治療法	1. 口臭の要因と予防を説明する。 専門基礎D-2-7) -⑥ 2. 口臭検査の意義を説明する。 専門B-1-2) -④ 3. 口臭に関する指導の概要を説明する。 専門D-3-3) -⑤
	準備学習	授業用プリントを読んでおくこと。	
第9回	戸谷 収二	口のかわき治療外来 ・口腔乾燥症（ドライマウス） の原因、検査、治療法	1. 口腔乾燥症の要因と予防を説明する。 専門基礎D-2-7) -⑦ 2. 口腔乾燥に関する指導の概要を説明する。 専門D-3-3) -⑥
	準備学習	授業用プリントを読んでおくこと。	
第10回	水橋 史	あごの関節・歯ぎしり外来 ・顎関節症の特徴と原因、 診察、検査、治療法	1. 顎関節症の症型分類と症状を説明する。 専門基礎D-2-7) -④ 2. 顎関節症の診断と治療法の原則を説明する。 専門B-5-⑧
	準備学習	授業用プリントを読んでおくこと。	
第11回	太田 信	顎のかたち・咬み合わせ外来 ・顎変形症の分類、原因、 顎変形症に伴う障害、治療 法	1. 不正咬合の原因と障害を把握し、矯正治療の目的を 説明する。 専門B-8-③,④ 2. 顎変形症の症状と治療法を説明する。 専門B-5-② 3. 不正咬合の治療に適した装置を識別し、その構造、 機能を説明する。 専門B-8-⑥
	準備学習	授業用プリントを読んでおくこと。	
第12回	瀬戸 宗嗣	口腔インプラント科 ・口腔インプラントの適応 と治療法	1. インプラント治療の特徴を説明する。 専門B-4-⑬ 2. インプラント治療の術式を説明する。 専門B-5-⑬ 3. インプラント治療のメンテナンスについて説明する。 専門E-4-5) -④
	準備学習	授業用プリントを読んでおくこと。	
第13回	浅沼 直樹	歯科補綴治療の基礎知識の まとめと復習	1. 歯科補綴治療に必要な基本的内容を記述する。
	準備学習	歯科衛生学シリーズ 歯科補綴学（医歯薬出版）Ⅰ編 2章歯科補綴治療の基礎知識の要点を確認する。	
第14回	浅沼 直樹	補綴治療に伴うトラブルと その対応	1. 補綴治療に伴うトラブルについて説明する。 専門B-4-⑤,⑨,⑭ 2. 補綴治療に伴うトラブルの対応法について説明する。 専門B-4-⑤,⑨,⑭
	準備学習	歯科補綴学教科書のⅡ編 2章③, 3章③,⑥の要点を確認する。	
第15回	浅沼 直樹	特殊な口腔内装置を用いる 治療	1. 構音・嚥下機能の補助治療の目的について説明する。 専門B-9-⑨,⑩ 2. 構音・嚥下機能の補助治療用いる補綴装置について説明する。 専門B-9-⑨,⑩
	準備学習	歯科補綴学教科書のⅡ編 5章①～④の要点を確認する。	

授業科目名

健康文化論

授業形態

講義

授業責任者

佐藤利英

学年

第2学年

学期

前期

曜日

金曜日

授業時間

10:40～12:00

授業概要

日本における近代歯科医学は、150年ほど前の明治期にアメリカから導入され、急速な発達を遂げてきた。そこには私学を中心とした歯科医学校および専門学校が大きく関わってきた。一方、昭和22年の保健所法の改正により、初めて歯科衛生士という職業が歯科衛生士の業務に取り入れられ、その後歯科衛生士法の制定により歯科衛生士の業務が拡充されてきた。本講義では、医学・歯学の史実についての歯科衛生士に必要な知識を修得する。

一般目標(GIO)

歯科医療に携わる歯科衛生士として、医学史と歯学史を通してその役割を学び、医の博物館の実際の史料から歯科衛生士に必要な基礎的知識を修得する。

学習成果(ディプロマ・ポリシー)

- ☐ ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- ☐ ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- ☐ ③ 歯科衛生士の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- ☐ ④ 歯科衛生士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- ☐ ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果(カリキュラム・ポリシー)

- ☐ ① 全人的視点から口腔の健康支援をするための基礎教育と専門教育を行う。
- ☐ ② 豊かな人間性、社会性、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- ☐ ③ 協調性、責任感、奉仕の精神を身に付けるための臨床・臨床実習を行う。
- ☐ ④ 専門化・高度化する保健・医療・福祉に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- ☐ ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書

歯科医学史の顔 第2版(学建書院)、 医の博物館 <https://www.ngt.ndu.ac.jp/museum/index.html>

参考書

スタンダード歯科医学史 第2版(学建書院)

アクティブ・ラーニング(複数選択可)

- ☐ PBL ☐ ディベート ☐ ディスカッション
- ☐ フィールドワーク ☐ プレゼンテーション
- ☐ その他()

成績評価の方法と割合

- ☐ 定期試験(%) ☐ 提出物(ノート・レポート)(80 %)
- ☐ ポートフォリオ(%) ☐ 成果発表(口頭・実技)(%)
- ☐ その他(グループワーク)(20 %)

医学史・歯学史に対する関心・意欲を含め、医の博物館見学を通して史料についてレポート(80%)を評価し、またグループワークでの看圖(20%)により評価を行う。

オフィスアワー

月曜日 17:00～18:00 事前にメールでアポイントを取ること。

E-mail: toshi@ngt.ndu.ac.jp (佐藤) 8号館2階(医の博物館ならび)

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
第 1 回	佐藤 利英	講義概要と医の博物館について －15回の概要説明と医の博物館紹介－	医学の歴史を時系列で説明する。
	準備学習	教科書 iii ～ iv (はじめに)を確認する。	
第 2 回	佐藤 利英	医学の歴史－① － 4 大文明と医学－	医学の歴史を時系列で説明する。
	準備学習	医の博物館 HP の該当資料を確認する。 https://www.ngt.ndu.ac.jp/museum/index.html	
第 3 回	佐藤 利英	医学の歴史－② －紀元前からルネサンス期までの医学－	医学の歴史を時系列で説明する。
	準備学習	医の博物館 HP の該当資料を確認する。 https://www.ngt.ndu.ac.jp/museum/index.html	
第 4 回	佐藤 利英	医学の歴史－③ －ルネサンス期から近代までの医学－	医学の歴史を時系列で説明する。
	準備学習	教科書 p 1 ～ 48、医の博物館 HP を確認する。 https://www.ngt.ndu.ac.jp/museum/index.html	
第 5 回	佐藤 利英	医学の歴史－④ －感染症と医学史－	医学の歴史を時系列で説明する。
	準備学習	医の博物館 HP の資料を確認する。 https://www.ngt.ndu.ac.jp/museum/index.html	
第 6 回	佐藤 利英	医の博物館見学 (1) －貴重な博物館史料の見学と調査－	医学・歯学・薬学に関する史料について説明する。
	準備学習	医の博物館 HP の資料を確認する。 https://www.ngt.ndu.ac.jp/museum/index.html	
第 7 回	佐藤 利英	歯学の歴史－① －欧米での歯学の発展－	歯学の歴史的流れを時系列で説明する。
	準備学習	教科書 p 27 ～ p71, P105 ～ P176を確認する。	
第 8 回	佐藤 利英	歯学の歴史－② －日本での歯学の発展－	歯学の歴史的流れを時系列で説明する。
	準備学習	医の博物館 HP の資料を確認する。 https://www.ngt.ndu.ac.jp/museum/index.html	
第 9 回	佐藤 利英	歯学の歴史－③ －江戸時代の口腔衛生－	歯学の歴史的流れと江戸時代の口腔衛生を説明する。
	準備学習	医の博物館 HP の資料を確認する。 https://www.ngt.ndu.ac.jp/museum/index.html	
第10回	佐藤 利英	医の博物館見学 (2) －貴重な博物館史料の見学と調査－	医学・歯学・薬学に関する史料について説明する。
	準備学習	医の博物館 HP の資料を確認する。 https://www.ngt.ndu.ac.jp/museum/index.html	
第11回	佐藤 利英	西洋版画・絵画にみる歯科治療 －17世紀の歯科治療－	西洋版画・絵画からわかる歯科治療について説明する。
	準備学習	医の博物館 HP の資料を確認する。 https://www.ngt.ndu.ac.jp/museum/index.html	

第12回	佐藤 利英	医療器具の発達 － 医科・歯科の医療器具の変遷－	各種医療器具の変遷について説明する。
	準備学習	医の博物館 HP の資料を確認する。 https://www.ngt.ndu.ac.jp/museum/index.html	
第13回	佐藤 利英	日本の歯科医育機関のはじまり － 日本歯科大学の歴史－	私立に始まる歯科医育機関の成り立ちについて説明する。 歯科衛生士の業務に関わる歴史について説明する。
	準備学習	教科書 p 191～p225を確認する。	
第14回	佐藤 利英	医の博物館見学（3） － 貴重な博物館史料の見学と調査－	医学・歯学・薬学に関する史料について説明する。
	準備学習	医の博物館 HP の資料を確認する。 https://www.ngt.ndu.ac.jp/museum/index.html	
第15回	佐藤 利英	課題学習 － 史料調査で得られた結果のまとめ－	学習に対する取得度を確認する。
	準備学習	医の博物館 HP の資料を確認する。 https://www.ngt.ndu.ac.jp/museum/index.html	

授業科目名

プレゼンテーション技能

授業形態

講義

IT教室

授業責任者

渡辺みのり

学年

第2学年

学期

前期

曜日

月曜日

授業時間

10:40～12:00

授業概要

プレゼンテーションの際には PC(パーソナルコンピュータ) を用いて PowerPoint を用いて準備することが一般的である。本演習では、プレゼンテーションに必要なデータの集計やグラフ化などに不可欠な Excel の基礎を習得し、PowerPoint を使って伝わりやすいプレゼンテーションの実践的な作成技術を習得する。

一般目標 (GIO)

必要な情報や意思の伝達を行い集団の意見を整理して発表するために、プレゼンテーションの基本的知識と技能および態度を習得する。

学習成果(ディプロマ・ポリシー)

- ☐ ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- ☐ ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- ☐ ③ 歯科衛生の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- ☐ ④ 歯科衛生士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- ☐ ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果(カリキュラム・ポリシー)

- ☐ ① 全人的視点から口腔の健康支援をするための基礎教育と専門教育を行う。
- ☐ ② 豊かな人間性、社会性、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- ☐ ③ 協調性、責任感、奉仕の精神を身に付けるための臨床・臨床実習を行う。
- ☐ ④ 専門化・高度化する保健・医療・福祉に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- ☐ ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書

30時間アカデミック Office2021 杉本くみこ・大澤栄子(著) 実教出版
PowerPointプレゼンテーション技能認定試験 問題集

参考書

Word2021クイックマスター (第1学年前期 情報リテラシー教科書)

アクティブ・ラーニング(複数選択可)

- ☐ PBL ☐ ディベート ☐ ディスカッション
- ☐ フィールドワーク ☒ プレゼンテーション
- ☐ その他()

成績評価の方法と割合

- ☐ 定期試験(%) ☐ 提出物(ノート・レポート)(10%)
- ☐ ポートフォリオ(%) ☐ 成果発表(口頭・実技)(50%)
- ☐ その他(検定)(40%)

PowerPoint検定(40%)、PowerPointの最終課題および発表(50%)、および毎回の講義の際の宿題(10%)により評価を行う。

オフィスアワー

火曜日・12:00～12:50・2号館3階物理学研究室 ※事前にメールで要予約(メールアドレスは授業中に提示する)

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標（SBOs）
第1回	渡辺 みのり 今井 あかね	Excel（教科書3章1～2節）	1.Excelの基本操作（開く・入力・保存）ができる。 2.表を作成する。
	準備学習	初回授業に教科書一式とUSBフラッシュメモリを必ず持参する。 教科書P.96～110ページを確認する。	
第2回	渡辺 みのり 今井 あかね	Excel（教科書3章3節）	1.表の作成ができる。 2.SUMやAVERAGEなどの簡単な関数を利用する。 基礎B-3）-②
	準備学習	教科書P.111～130ページを確認する。	
第3回	渡辺 みのり 今井 あかね	Excel（教科書3章4～5節）	1.表を適切に印刷できる。 2.さまざまな数式を利用する。 基礎B-3）-②
	準備学習	教科書P.131～156ページを確認する。	
第4回	渡辺 みのり 今井 あかね	Excel（教科書3章6節）	1.グラフを作成する。 基礎B-3）-②
	準備学習	教科書P.157～168ページを確認する。	
第5回	渡辺 みのり 今井 あかね	PowerPoint①（教科書4章）	1.PowerPointの基本操作（開く・入力・保存）ができる。 2.デザインを選び、スライドを追加できる。 3.文字の編集をする。 4.図やオブジェクトの挿入と編集ができる。 基礎B-3）-②,B-4）-⑤
	準備学習	教科書P.233～237を確認する。	
第6回	渡辺 みのり 今井 あかね	PowerPoint②（教科書4章、 問題集初級練習問題1）	1.図表・グラフ・表の挿入と編集ができる。 2.画面切り替えやアニメーションを設定する。 3.ノート機能を使用する。 4.スライドショーの発表者ツールを利用する。 基礎B-3）-②,B-4）-⑤
	準備学習	問題集で出来なかったところを教科書や参考書で復習しておく。問題集を解き直す。	
第7回	渡辺 みのり 今井 あかね	PowerPoint③（問題集初級練習 問題1 続き）	1.リンク機能（ハイパーリンク、動作設定ボタン）を使用する。 2.ノート機能を使用する。 基礎B-3）-②,B-4）-⑤
	準備学習	問題集で出来なかったところを教科書や参考書で復習しておく。問題集を解き直す。	
第8回	渡辺 みのり	PowerPoint実践学習1～3	模擬問題を検定試験と同じ環境で実施する。
第9回	今井 あかね	（問題集）	基礎B-3）-②,B-4）-⑤
第10回	準備学習	問題集で出来なかったところを教科書や参考書で復習しておく。問題集を解き直す。	
	サーティファイ 担当者	検定試験 ・PowerPoint® プレゼンテーション技能認定試験	PowerPoint®の検定試験を実施する。 基礎B-3）-②,B-4）-⑤
第11回	準備学習	問題集で出来なかったところを教科書や参考書で復習しておく。問題集を解き直す。	
	渡辺 みのり 今井 あかね	最終課題の作成1,2	検定で学んだことを踏まえて、最終課題を作成する。 基礎B-3）-②,B-4）-⑤
第12回 第13回	準備学習	教科書P.233～237を確認する。最終課題のアイデアを考え、時間内に完成させる準備をする。	
	渡辺 みのり 今井 あかね	発表準備と発表	最終課題の発表準備をする。 最終課題を発表する。 基礎B-4）-①
第14回	準備学習	教科書P.236～237を確認する。各自で発表練習を行う。	
	渡辺 みのり 今井 あかね	発表	最終課題を発表する。 基礎B-4）-①
第15回	準備学習	教科書P.236～237を確認する。各自で発表練習を行う。	

授業科目名

手話

授業形態

講義

授業責任者

笹川 英子

学年

第2学年

学期

前期

曜日

月曜日

授業時間

10:40～12:00

授業概要

手話は聴覚障害者とのコミュニケーション方法の一つです。よりよい治療をするには、患者さんとのコミュニケーションが大切です。日常会話だけでなく、歯科に関する言葉を手話表現できるようにするための基礎を身につける。

一般目標(GIO)

聴覚障害をもつ患者と歯科医師との信頼関係を築くために、聴覚障害について理解と認識を深め、会話に必要な手話表現技術を修得する。

学習成果(ディプロマ・ポリシー)

- ☐ ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- ☐ ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- ☐ ③ 歯科衛生の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- ☐ ④ 歯科衛生士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- ☐ ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果(カリキュラム・ポリシー)

- ☐ ① 全人的視点から口腔の健康支援をするための基礎教育と専門教育を行う。
- ☐ ② 豊かな人間性、社会性、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- ☐ ③ 協調性、責任感、奉仕の精神を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
- ☐ ④ 専門化・高度化する保健・医療・福祉に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- ☐ ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書

手にことばを・手話テキスト 初級用(社団法人 東京都聴覚障害者連盟)

参考書**アクティブ・ラーニング(複数選択可)**

- ☐ PBL ☐ ディベート ☐ ディスカッション
- ☐ フィールドワーク ☐ プレゼンテーション
- ☐ その他()

成績評価の方法と割合

- ☐ 定期試験(80 %) ☐ 提出物(ノート・レポート)(%)
- ☐ ポートフォリオ(%)
- ☐ 成果発表(口頭・実技)(20 %)
- ☐ その他()(%)

オフィスアワー

授業終了後

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
第1回	笹川 英子 沢田 京子	講座Ⅰ 身体を使って表現しましょう ・身振りや表情など、言葉以外の伝達方法を考えて、表現してみる。	聴覚障がい者とのコミュニケーション方法を身に付ける。
	準備学習	「挨拶」の復習	
第2回	笹川 英子 沢田 京子	講座Ⅱ 自己紹介をしましょう ・名前の表し方を学習する。	自分の名前を正確に手話表現出来る。
	準備学習	「指文字」の復習	
第3回	笹川 英子 沢田 京子	講座Ⅱ 自己紹介をしましょう ・数の表し方を学習する。 ・家族の紹介、いろいろな人物を表現してみる。	家族構成・人数の表現が出来る。
	準備学習	「数字」の復習	
第4回	笹川 英子 沢田 京子	講座Ⅱ 自己紹介をしましょう ・数を正確に伝える。(誕生日など)	数を使った表現(誕生日・身長など)が出来る。
	準備学習	「家族」の復習	
第5回	笹川 英子 沢田 京子	講座Ⅱ 自己紹介をしましょう ・住所の表現、地理の表し方。	自分の住所を表現出来る。
	準備学習	色々な「地名」の復習	
第6回	笹川 英子 沢田 京子	講座Ⅲ 楽しもう！手話の会話 ・趣味について動きや様子を工夫して表現する。	色々な「趣味」の表現が出来る。
	準備学習	第1回～第6回の復習	
第7回	笹川 英子 沢田 京子	まとめ	第1回～第6回で学んだ手話を正確に表現出来る。
	準備学習		
第8回	笹川 英子 沢田 京子	講座Ⅲ 楽しもう！手話の会話 ・時間の表し方を学習する。	数字を使って時間を表現出来る。
	準備学習	P.74「基礎知識」の予習	
第9回	笹川 英子 沢田 京子	聴覚障がい者を招いて ・講義「聴覚障がい者の生活について」	「聴覚障がい者の生活」を理解する。
	準備学習		

第10回	笹川 英子 沢田 京子	講座Ⅲ 楽しもう！手話の会話 ・ 1 日の時間の表し方を覚えましょう。 ・ グループごとに考え、発表する。	手話を用いて会話が出来る。
	準備学習	第 8 回の復習	
第11回	笹川 英子 沢田 京子	聴覚障がい者を招いて ・ 歯科に関する単語を手話で表す。	歯科に関する単語の手話表現が出来る。
	準備学習	歯科単語の復習	
第12回	笹川 英子 沢田 京子	歯科単語の復習 ・ 歯科医院での会話例を手話で表現する。	歯科医院で手話を用いた会話が出来る。
	準備学習	会話例の復習	
第13回	笹川 英子 沢田 京子	歯科単語の復習 ・ 歯科医院での会話例を手話で表現する。	歯科に関する単語・会話が手話で出来る。
	準備学習	第11回、第12回の復習	
第14回	笹川 英子 沢田 京子	まとめ	第 8 回～第13回で学んだ手話を正確に表現出来る。
	準備学習		
第15回	笹川 英子 沢田 京子	まとめ ・ 第 1 回～第10回までのまとめ	学習した手話で会話が出来る。
	準備学習		

授業科目名

リハビリテーション論

授業形態

講義

授業責任者

佐藤 雄一郎

学年

第2学年

学期

後期

曜日

水曜日

授業時間

13:00～14:20

授業概要

人々は、疾病や健康障害があっても最も望ましい生活の場を自ら選び、自分らしく暮らすことで良い人生を送る事ができる。あらゆる年代の疾病や健康障害のある人々やそのリスクの高い人々、それを取り巻く家族、地域の人々に対して、健康と生活の質の維持と向上をめざすケアおよび歯科の役割を探索する事を目的とする。

一般目標(GIO)

- 1) 歯科衛生士が、人々の健康を守るために必要な摂食嚥下の評価法を、講義、実習を通して習得する。
2) 歯科衛生士が、チーム医療の一員として、医療安全意識の涵養をはかる。

学習成果(ディプロマ・ポリシー)

- ☐ ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
☐ ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
☐ ③ 歯科衛生の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
☐ ④ 歯科衛生士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
☐ ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果(カリキュラム・ポリシー)

- ☐ ① 全人的視点から口腔の健康支援をするための基礎教育と専門教育を行う。
☐ ② 豊かな人間性、社会性、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
☐ ③ 協調性、責任感、奉仕の精神を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
☐ ④ 専門化・高度化する保健・医療・福祉に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
☐ ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書

歯科衛生学シリーズ 高齢者歯科学
歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論

参考書**アクティブ・ラーニング(複数選択可)**

- ☐ PBL ☐ ディベート ☐ ディスカッション
☐ フィールドワーク ☐ プレゼンテーション
☐ その他()

成績評価の方法と割合

- ☐ 定期試験(100%) ☐ 提出物(ノート・レポート)(%)
☐ ポートフォリオ(%) ☐ 成果発表(口頭・実技)(%)
☐ その他() (%)

授業内容について、定期試験(100%)にて評価を行う。

オフィスアワー

佐藤 雄一郎 木曜日 17:00～17:30 4号館3階教授室

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
第1回	佐藤 雄一郎	摂食嚥下の評価 (講義)	1. 摂食嚥下の機能を説明できる。 2. 摂食嚥下の機能評価について説明できる。
	準備学習	事前配布資料を読んで参加すること。	
第2回	土田 智子	口腔機能精密検査 (講義)	1. 口腔機能低下症を説明する。 2. 口腔機能精密検査項目を説明する。 専門E-12-1) ⑤ 専門E-12-2) ①
	準備学習	高齢者歯科学教本該当箇所を読んで参加すること。	
第3回	佐藤 雄一郎 池田 裕子	摂食嚥下内視鏡体験 (実習)	1. ファントムを用いて実際に頭頸部内視鏡を操作することで 口腔～咽頭喉頭にかけたの頭頸部解剖を理解する。
	準備学習	第1回授業内容を復習の上参加すること。	
第4回	松本 香好美 榎 志佳	呼吸法・排痰法 (実習)	1. 呼吸法を習得する。 2. 排痰法を体験することでドレナージの手法を学ぶ。
	準備学習	事前配布資料を読んで参加すること。	
第5回	土田 智子	口腔機能精密検査 (実習)	1. 口腔機能精密検査項目を実施する。 専門E-12-1) ⑤ 専門E-12-2) ①
	準備学習	第2回授業内容を復習の上参加すること。	
第6回	高橋 圭三	摂食嚥下のリハビリテーション (講義)	1. 摂食嚥下リハビリテーションを説明できる。 2. 摂食嚥下訓練について説明できる。
	準備学習	第1回授業内容を復習の上参加すること。	
第7回	高橋 圭三 宮崎 晶子 土田 智子	摂食嚥下のリハビリテーション (実習)	1. 間接訓練・直接訓練を実施できる。 2. 食事介助を実施できる。
	準備学習	第6回授業内容を復習の上参加すること。	
第8回	佐藤 雄一郎 小根山 隆浩 小林 裕子 渡部 麻紀 土田 江見子 本間 浩子 榎 志佳 池田 裕子 清野 可那子	KYT教育	1) あらゆる医療の場面で、エラーを起こさないように、安全に留意することは重要であることを理解する。 2) KYT (危険予知トレーニング) を体験することで、エラーを未然防止する手法を学ぶ。
	準備学習	事前配布資料を読んで参加すること。	

授業科目名

総合講義Ⅱ(専門基礎分野)

授業形態

講義

授業責任者

土田 智子

学年

第2学年

学期

後期

曜日

火曜日

授業時間

9:00～12:00

授業概要

1～2年前期を修了し、総合試験を受験するにあたり、専門職としての歯科衛生士に必要な知識、すなわち「歯科衛生学」として各自が知識の統合を行っていく。1～2年生で学んだ内容について再確認を行う。

一般目標(GIO)

総合試験に合格しうる知識を習得するため、2年間で学んだ内容を統合する。

学習成果(ディプロマ・ポリシー)

- ☐ ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- ☐ ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- ☐ ③ 歯科衛生の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- ☐ ④ 歯科衛生士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- ☐ ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果(カリキュラム・ポリシー)

- ☐ ① 全人的視点から口腔の健康支援をするための基礎教育と専門教育を行う。
- ☐ ② 豊かな人間性、社会性、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- ☐ ③ 協調性、責任感、奉仕の精神を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
- ☐ ④ 専門化・高度化する保健・医療・福祉に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- ☐ ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書

各科目 使用教本

参考書**アクティブ・ラーニング(複数選択可)**

- ☐ PBL ☐ ディベート ☐ ディスカッション
- ☐ フィールドワーク ☐ プレゼンテーション
- ☐ その他()

成績評価の方法と割合

- ☐ 〇 定期試験(100%) ☐ 提出物(ノート・レポート)(%)
- ☐ ポートフォリオ(%)
- ☐ 成果発表(口頭・実技)(%)
- ☐ その他()(%)

2年学期末における総合試験Ⅱにおいて61点以上の獲得が進級審査の基準となる。

オフィスアワー

各授業担当者 メールアドレス
* 事前にmailにて要予約

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
第1回	佐藤 義英	生理学・口腔生理学	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	総合試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第2回	吉村 建	口腔解剖学	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	総合試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第3回	鴨田 剛司	公衆衛生学	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	総合試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第4回	吉村 建	解剖学	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	総合試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第5回	小松崎 明	衛生行政・社会福祉	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	総合試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第6回	熊倉 雅彦	組織学・口腔組織学	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	総合試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第7回	小野 幸絵	口腔衛生学	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	総合試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第8回	福井 佳代子	薬理学	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	総合試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第9回	東理 頼亮	臨床検査学 病理学・口腔病理学	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	総合試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第10回	丸山 昂介	微生物学	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	総合試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	

授業科目名

歯科予防処置演習Ⅳ

授業形態

演習

授業責任者

◎嵐 聖芽

学年

第2学年

学期

後期

曜日

火曜日

授業時間

13:00～16:00

授業概要

歯科予防処置の基礎知識を基に、歯科予防処置の手法を患者に安全に提供するために必要な器具・材料・薬品の使用法について実践に即した実習を行う。それにより、様々な患者に対して応用・駆使できる技能を修得する。

歯科予防処置は、保健指導とともに歯科衛生士の職務の根幹となるものである。しかもそれは、知識とともに“手技”を伴っていて、これは自らが一つ一つ積み上げて身につけていくより仕方のないものである。手技は確かに難しいところはあるが、基本的なことから順序よく積み上げていけば、必ず自分のものにすることができる。

本実習では、1 年次および2年前期に履修した知識、技術を踏まえ、それを患者さんに応用できるような総合能力を修得する。

一般目標 (GIO)

歯科予防処置の基礎知識を基に、歯科予防処置の手法を患者に安全に提供するために必要な器具・材料・薬品の使用法について実践に即した実習を行う。それにより、様々な患者に対して応用・駆使できる技能を修得する。

学習成果 (ディプロマ・ポリシー)

- ☐ ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- ☐ ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- ☐ ③ 歯科衛生士の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- ☐ ④ 歯科衛生士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- ☐ ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果 (カリキュラム・ポリシー)

- ☐ ① 全人的視点から口腔の健康支援をするための基礎教育と専門教育を行う。
- ☐ ② 豊かな人間性、社会性、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- ☐ ③ 協調性、責任感、奉仕の精神を身に付けるための臨床・臨床実習を行う。
- ☐ ④ 専門化・高度化する保健・医療・福祉に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- ☐ ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書

【歯科衛生学シリーズ】(医歯薬出版)
歯科予防処置論・歯科保健指導論

参考書

【歯科衛生学シリーズ】(医歯薬出版)
歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み 1 保健生態学

アクティブ・ラーニング (複数選択可)

- ☐ PBL ☐ ディベート ☐ ディスカッション
- ☐ フィールドワーク ☐ プレゼンテーション
- ☐ その他 ()

成績評価の方法と割合

- ☐ 定期試験 (50%) ☐ 提出物 (ノート・レポート) (50%)
- ☐ ポートフォリオ (%) ☐ 成果発表 (口頭・実技) (%)
- ☐ その他 () (%)

定期試験は、多選択肢形式で出題する。定期試験による評価 (50%)、実習に関するレポート評価 (50%) で評価する。また、レポートは提出日から1日遅れるごとに1点減点して評価する。

オフィスアワー

実習終了後E-mailにて連絡し確認してください。
E-mail: kiyoka@ngt.ndu.ac.jp (嵐 聖芽) 新潟短期大学研究室Ⅱ (3号館2階)
E-mail: springsea@ngt.ndu.ac.jp (清野可那子) 新潟短期大学研究室Ⅱ (3号館2階)

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
第 1 回	◎嵐 聖芽 ◎清野可那子 ◎池田 裕子	う蝕活動性試験 (実習) ①	1. う蝕活動性試験を実施する。 専門C- 3 - 2) -① 2. う蝕活動性を評価し、う蝕予防プログラムを立案できる。 専門C- 3 - 2) -② 3. う蝕のリスクとメンテナンスの必要性を理解する。 専門C- 3 - 7) -③
	準備学習	歯科予防処置論・歯科保健指導論教科書の該当部分を事前に確認しておくこと。	
第 2 回	◎嵐 聖芽 ◎清野可那子 ◎池田 裕子	う蝕活動性試験 (実習) ②	1. う蝕活動性試験を実施する。 専門C- 3 - 2) -① 2. う蝕活動性を評価し、う蝕予防プログラムを立案できる。 専門C- 3 - 2) -② 3. う蝕のリスクとメンテナンスの必要性を理解する。 専門C- 3 - 7) -③
	準備学習	歯科予防処置論・歯科保健指導論教科書の該当部分を事前に確認しておくこと。	
第 3 回	◎嵐 聖芽 ◎清野可那子 ◎池田 裕子	う蝕活動性試験 (実習) ③	1. う蝕活動性試験を実施する。 専門C- 3 - 2) -① 2. う蝕活動性を評価し、う蝕予防プログラムを立案できる。 専門C- 3 - 2) -② 3. 立案した予防プログラムを元に患者指導を行うことができる。 4. う蝕のリスクとメンテナンスの必要性を理解する。 専門C- 3 - 7) -③
	準備学習	歯科予防処置論・歯科保健指導論教科書の該当部分を事前に確認しておくこと。	
第 4 回	◎清野 可那子 ◎嵐 聖芽 ◎池田 裕子	フッ化物洗口 (実習)	①使用薬剤の種類、濃度および取り扱い方を説明できる。 ②洗口方法を説明できる。 ③フッ化物洗口を実施する。 ④フッ化物洗口法の注意事項を説明する。 専門C-3-3) - (2) -①②③④
	準備学習	歯科予防処置論・歯科保健指導論教科書の該当部分を事前に確認しておくこと。	
第 5 回	◎嵐 聖芽	歯周病予防総括①	
	準備学習	1・2年時に学んだ歯周病予防分野の内容を復習しておくこと。	
第 6 回	◎清野 可那子	歯周病予防総括②	
	準備学習	1・2年時に学んだ歯周病予防分野の内容を復習しておくこと。	
第 7 回	◎嵐 聖芽	う蝕予防総括①	
	準備学習	1・2年時に学んだう蝕予防分野の内容を復習しておくこと。	
第 8 回	◎清野 可那子	う蝕予防総括②	
	準備学習	1・2年時に学んだう蝕予防分野の内容を復習しておくこと。	
第 9 回	◎嵐 聖芽 ◎清野 可那子	知識確認	
	準備学習	1・2年時に学んだ歯科予防処置の内容を復習しておくこと。	

授業科目名

歯科衛生過程論Ⅰ

授業形態

講義

授業責任者

◎宮崎 晶子

学年

第2学年

学期

後期

曜日

水曜日

授業時間

13:00～14:20

授業概要

事例を用いて歯科衛生過程の進め方を復習し、ライフステージ別の歯科衛生業務を実践できるスキルを学ぶ。対象者の情報収集を行い、論理的に思考し、問題発見および解決するための過程を修得する。

一般目標(GIO)

対象者の歯科衛生ニーズに合わせた支援をするために必要な歯科衛生業務の知識・技術を修得する。

学習成果(ディプロマ・ポリシー)

- ☐ ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- ☐ ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- ☐ ③ 歯科衛生の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- ☐ ④ 歯科衛生士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- ☐ ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果(カリキュラム・ポリシー)

- ☐ ① 全人的視点から口腔の健康支援をするための基礎教育と専門教育を行う。
- ☐ ② 豊かな人間性、社会性、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- ☐ ③ 協調性、責任感、奉仕の精神を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
- ☐ ④ 専門化・高度化する保健・医療・福祉に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- ☐ ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書

歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 医歯薬出版

参考書

よくわかる歯科衛生過程 医歯薬出版

アクティブ・ラーニング(複数選択可)

- ☐ PBL ☐ ディベート ☐ ディスカッション
- ☐ フィールドワーク ☐ プレゼンテーション
- ☐ その他()

成績評価の方法と割合

- ☐ 定期試験(50%) ☐ 提出物(ノート・レポート)(50%)
- ☐ ポートフォリオ() (%) ☐ 成果発表(口頭・実技)() (%)
- ☐ その他() () (%)

歯科衛生過程についての記述式試験を講義最終日に行う。また、事例についてディスカッションにより問題抽出を行い、歯科衛生計画を立案するまでのレポートを作成し、提出する。

オフィスアワー

月～金曜日・9:00～18:00・3号館2階教室 ※授業終了後またはメールで連絡でも可(akjc@ngt.ndu.ac.jp)

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
第1回	◎宮崎 晶子	オリエンテーションと事例説明（歯科衛生過程）	1. 歯科衛生過程を説明できる。 専門A-1-④～⑦、A-2-①②、専門D-2-1）～4）、専門D-3-1）
	準備学習	歯科予防処置論・歯科保健指導論の『歯科衛生過程』の章の要点を確認する	
第2回	◎宮崎 晶子	歯科衛生アセスメント	1. 歯科衛生アセスメントを説明できる。 専門A-2、専門D-2-1）～4）
	準備学習	配布した事例に目を通す	
第3回	◎宮崎 晶子	歯科衛生診断	1. 歯科衛生診断を説明できる。 専門A-2、専門D-2-1）～4）、専門D-3、4、5
	準備学習	事例のアセスメントを完成させる	
第4回	◎宮崎 晶子	歯科衛生計画立案	1. 歯科衛生計画立案を説明できる。 専門A-2、専門D-3、専門D-4 2. アセスメントから介入方法を説明できる。専門D-3
	準備学習	事例の問題点の優先順位を考える	
第5回	◎宮崎 晶子	歯科衛生介入	1. 歯科衛生介入の記録ができる。 専門A-2-⑥、専門D-3-2） - ③④⑥
	準備学習	歯科衛生計画立案まで完成させる	
第6回	◎宮崎 晶子	歯科衛生評価	1. 歯科衛生評価を説明できる。 専門A-2-⑦、専門D-3-2） - ⑤⑥
	準備学習	SOAPを復習する	
第7回	◎宮崎 晶子	歯科衛生業務	1. 歯科衛生業務を説明できる。 専門A-2-⑧、専門D-3-2） - ⑥
	準備学習	事例をまとめる	
第8回	◎宮崎 晶子	まとめと評価試験	1. 歯科衛生過程を説明できる。 専門A-1-④～⑦、A-2-①②、専門D-2-1）～4）、専門D-3-1）
	準備学習	歯科衛生過程の要点を確認する	

授業科目名

歯科診療補助演習Ⅳ

授業形態

演習

授業責任者

◎土田 智子

学年

第2学年

学期

後期

曜日

火曜日

授業時間

13:00～16:00

授業概要

歯科診療補助は社会的情勢や歯科医療の高度化にともなって歯科衛生士としての専門性を多く発揮できる領域である。歯科診療補助を行うためには、基礎的理論と基礎的技術の理解が必要である。そこで本演習では、診療環境のマネジメントや歯科診療の流れを理解した上でのアシスタントワークを学ぶ。

一般目標(GIO)

複雑多岐にわたる歯科診療行為において、より効果的な共同動作を実践するために、あらゆる歯科診療場面に対応する専門的知識および技能を修得し、総合的な能力と医療人としての態度・習慣を身につける。

学習成果(ディプロマ・ポリシー)

- ☐ ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- ☐ ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- ☐ ③ 歯科衛生の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- ☐ ④ 歯科衛生士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- ☐ ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果(カリキュラム・ポリシー)

- ☐ ① 全人的視点から口腔の健康支援をするための基礎教育と専門教育を行う。
- ☐ ② 豊かな人間性、社会性、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- ☐ ③ 協調性、責任感、奉仕の精神を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
- ☐ ④ 専門化・高度化する保健・医療・福祉に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- ☐ ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書

歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論 医歯薬出版株式会社

参考書

歯科衛生学シリーズ 歯科材料 医歯薬出版株式会社
 歯科衛生学シリーズ 歯科機器 医歯薬出版株式会社
 歯科衛生学シリーズ 高齢者歯科学 医歯薬出版株式会社

アクティブ・ラーニング(複数選択可)

- ☐ PBL ☐ ディベート ☐ ディスカッション
- ☐ フィールドワーク ☐ プレゼンテーション
- ☐ その他()

成績評価の方法と割合

- ☐ 定期試験() % ☐ 提出物(ノート・レポート)(100%)
- ☐ ポートフォリオ() % ☐ 成果発表(口頭・実技)() %
- ☐ その他() () %

授業内で実践した項目について、小テストやレポート、作品(100%)により評価を行う。レポートに関しては提出期限が過ぎた場合には減点を行う。また、欠席した場合には、自ら報告相談を行う事。なお、再試験、追試験は必要に応じて実施することがある。

オフィスアワー

授業終了後 3号館2階 研究室
 email:stjc@ngt.ndu.ac.jp

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
第 1 回	◎加藤 千景 ◎浅沼 直樹 ◎土田 智子	隔壁操作～コンポジットレジン修復 (2 級窩洞)	1.コンポジットレジン修復の手順を説明する。 2.歯面処理材を準備する。 3.コンポジットレジン修復の前準備をする。 4.隔壁法に用いる材料を理解する。 5.コンポジットレジン修復を実施する。 専門 E-3-1) ①～⑤, 3) ①～③
	準備学習	歯科診療補助論 P110～114 を参照の上、実習に参加すること。	
第 2 回	◎高橋 靖之 ◎池田 裕子	救急蘇生法	1.救急蘇生法の目的を理解する。 2.救急蘇生法を実施する。 専門 E-11- 2) ①～⑥
	準備学習	歯科診療補助論 P13～17 を参照の上、実習に参加すること。	
第 3 回	◎高塩 智子 ◎榎 志佳	歯周外科の診療補助	1.歯周外科の手順を理解する。 2.歯周外科に使用する器具器材を理解する。 3.術式順に器具を準備する。 専門 E-3-9) ①～⑤
	準備学習	歯科診療補助論 P133～137 を参照の上、実習に参加すること。	
第 4 回	◎榎 志佳 ◎加藤 千景	高齢者体験	1.高齢者の体の変化を体験する。 2.高齢者の気持ちを理解する。 3.支援者としての配慮について理解する。 専門 B-9-⑦, 専門 E-1-3) ②
	準備学習	日常生活・臨床における高齢者支援について事前に振り返りながら実習に参加すること。	
第 5 回	◎土田 智子 ◎池田 裕子	咽頭喀痰吸引実習	1.呼吸の異常音の種類を理解する。 2.喀痰吸引の必要性を理解する。 3.歯科衛生士の業務範囲を述べる。
	準備学習	高齢者歯科教本の該当部を事前に把握し実習に参加すること。	
第 6 回	◎浅沼 直樹 ◎長谷川 優 ◎関口 博一 ◎三富 加奈子	プロビジョナルレストレーション作成① (白歯部)	1.プロビジョナルレストレーションの必要性を理解する。 2.即時重合レジンを取り扱う。 3.マイクロモーターハンドピースを取り扱う。 4.プロビジョナルレストレーションを作製する。 専門 E-4-4) ①②
	準備学習	歯科診療補助論 P111 ～114・事前配布資料を参照の上、実習に参加すること。	
第 7 回	◎浅沼 直樹 ◎長谷川 優 ◎関口 博一 ◎三富 加奈子	プロビジョナルレストレーション作成作品提出② (白歯部)	1.プロビジョナルレストレーションの必要性を理解する。 2.即時重合レジンを取り扱う。 3.マイクロモーターハンドピースを取り扱う。 4.プロビジョナルレストレーションを作製する。 専門 E-4-4) ①②
	準備学習	事前配布資料を参照の上、実習に参加すること。	
第 8 回	◎土田 智子 ◎榎 志佳 ◎池田 裕子	歯科材料実習	1. 歯科材料の種類を理解する。 2. 歯科材料の特徴を理解する。
	準備学習	歯科材料に関し、自身の苦手分野を把握したうえで参加すること。	

授業科目名

看護学概論

授業形態

講義

授業責任者

◎小林 裕子

学年

第2学年

学期

後期

曜日

水曜日

授業時間

14:40～16:00

授業概要

我が国の少子超高齢化により、人々の医療、介護ニーズは多様化複雑化しており、国民のニーズに答え健康な社会をつくるために、地域を基盤とした地域包括ケアシステムの構築が推進されている。それぞれの専門職が、目的と情報を共有し、医療と介護、生活支援が切れ目なく提供されるために、保健医療福祉に関わる多職種間の連携が重要となっている。口腔の健康と全身の健康にとって歯科衛生士の役割は重要で、専門職である歯科衛生士の役割も拡大している。日常生活援助としての保健指導や診療の補助等、看護との共通点も多いことから、知識や技術を有効に活用することでその実践力を高めることができる。また、看護を理解することで連携を深め、人々の健康に貢献することができる。

本科目では、看護の基本的考え方(概念)と科学的知識・技術に基づく基本的援助技術、看護管理、チーム連携等、看護の概要について学ぶ。

一般目標(GIO)

歯科衛生士が人々の健康を守るために必要な看護の基本的な考え方、および援助技術を習得する。

学習成果(ディプロマ・ポリシー)

- ☐ ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- ☐ ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- ☐ ③ 歯科衛生士の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- ☐ ④ 歯科衛生士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- ☐ ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果(カリキュラム・ポリシー)

- ☐ ① 全人的視点から口腔の健康支援をするための基礎教育と専門教育を行う。
- ☐ ② 豊かな人間性、社会性、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- ☐ ③ 協調性、責任感、奉仕の精神を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
- ☐ ④ 専門化・高度化する保健・医療・福祉に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- ☐ ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書

不要(必要資料を準備します)

参考書

看護学概論(医学書院) 基礎看護技術Ⅰ(医学書院) よくわかる在宅医療&介護(新潟市)

アクティブ・ラーニング(複数選択可)

- ☐ PBL
- ☐ ディベート
- ☐ ディスカッション
- ☐ フィールドワーク
- ☐ プレゼンテーション
- ☐ その他()

成績評価の方法と割合

- ☐ 定期試験(90 %)
- ☐ 提出物(ノート・レポート)(10 %)
- ☐ ポートフォリオ(%)
- ☐ 成果発表(口頭・実技)(%)
- ☐ その他()(%)

一般目標で示した項目についての多選択肢形式筆記試験(90%)と、看護学概論のまとめとしてのレポート(10%)により評価を行う。再試験、追試験は必要に応じて実施することがある。

オフィスアワー

短大事務室を通して連絡

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
第 1 回	◎小林 裕子	看護の目的と倫理	1. 看護の目的、対象、方法が説明できる 2. 人権尊重と看護職者の責務を理解できる
	準備学習	歯科衛生士の倫理綱領を復習する	
第 2 回	◎六井 祐子	ヘルスアセスメント	1. 人々の健康状態を総合的に査定するヘルスアセスメントが理解できる 2. フィジカルイグザミネーションに基づくフィジカルアセスメントが理解できる 3. 問診、視診、触診、聴診の意義とその基本的知識が理解できる 4. 呼吸器系の基礎知識に基づくフィジカルアセスメントの目的、方法が理解できる
	準備学習	歯科診療補助論バイタルサイン実習を復習する	
第 3 回	◎神田 明	地域包括ケアシステム (1)	1. 地域包括ケアシステムについて理解できる 2. 様々な人々の健康支援・サービス提供のシステムについて理解できる
	準備学習	事前配布資料を読む	
第 4 回	◎神田 明	地域包括ケアシステム (2)	1. 医療施設にとどまらず地域での生活者に対する役割について理解する 2. 地域包括ケアの取組の実際を知る
	準備学習	事前配布資料を読む	
第 5 回	◎神田 明 ◎小林 裕子	グループ 1 地域包括ケアシステム (3) グループ 2 移乗実習	グループ 1 1. 地域包括ケアの実際を考える グループ 2 1. 安全な移乗を体験から学ぶ
	準備学習	地域包括ケアシステム講義を復習する	
第 6 回	◎神田 明 ◎小林 裕子	グループ 2 地域包括ケアシステム (3) グループ 1 移乗実習	グループ 2 1. 地域包括ケアの実際を考える グループ 1 1. 安全な移乗を体験から学ぶ
	準備学習	地域包括ケアシステム講義を復習する	
第 7 回	◎渡部 麻紀 ◎小林 裕子	グループ 1 危険予知トレーニング グループ 2 レポート	グループ 1 1. どのような危険が潜んでいるか気づき、対策を立案することができる 2. 異なる意見や視点があることを知る グループ 2 看護学概論まとめ
	準備学習	医療安全管理を復習する	

第 8 回	◎渡部 麻紀 ◎小林 裕子	グループ 2 危険予知トレーニング グループ 1 レポート	グループ 2 1. どのような危険が潜んでいるか気づき、対策を立案 することができる 2. 異なる意見や視点があることを知る グループ 1 看護学概論まとめ
	準備学習	医療安全管理を復習する	

授業科目名

病院実習・臨地実習Ⅰ

授業形態

実習

授業責任者

◎池田 裕子

学年

第2学年

学期

後期

曜日

月・木・金曜日

授業時間

8:30～17:00

授業概要

本科目の目的は、「口腔健康管理の向上に貢献する歯科衛生士になるために、専門職としての倫理観、臨床に即した知識・技能および態度を身につける。」となっており、日本歯科大学新潟病院において、1年間の実習を実施する。

一般目標(GIO)

Ⅰ 患者のニーズを把握した対応を実践する。
 「患者接遇の体験」
 Ⅱ 多職種による連携のとれた患者への対応を理解する。
 「多職種連携の理解」
 Ⅲ 歯科衛生過程に基づいた歯科予防処置、歯科保健指導を実践する。
 「歯科衛生業務の実践」
 Ⅳ 歯科治療の内容に応じた歯科診療補助を実践する。
 「歯科診療補助の修業」
 Ⅴ 病院実習生としての自覚を持って実習上のルールを遵守する。
 「医療現場における社会的行動の体得」

- ☐ ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- ☐ ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- ☐ ③ 歯科衛生の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- ☐ ④ 歯科衛生士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- ☐ ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果(カリキュラム・ポリシー)

- ☐ ① 全人的視点から口腔の健康支援をするための基礎教育と専門教育を行う。
- ☐ ② 豊かな人間性、社会性、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- ☐ ③ 協調性、責任感、奉仕の精神を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
- ☐ ④ 専門化・高度化する保健・医療・福祉に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- ☐ ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書**参考書****アクティブ・ラーニング(複数選択可)**

- ☐ PBL ☐ ディベート ☐ ディスカッション
- ☐ フィールドワーク ☐ プレゼンテーション
- ☐ その他()

成績評価の方法と割合

- ☐ 定期試験(%) ☐ 提出物(ノート・レポート)(%)
- ☐ ポートフォリオ(%) ☐ 成果発表(口頭・実技)(%)
- ☐ その他()(%)

成績評価の方法と割合については、DHCSL参照。

オフィスアワー

DHCSLに記載されている、各現場の指導者のアポイントをとること。

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
10月～2月	◎指導歯科衛生士 ◎指導歯科医師 ◎指導放射線技師		DHCSL 参照
	準備学習		DHCSL 参照

授業科目名

総合講義Ⅱ（専門分野）

授業形態

講義

授業責任者

土田 智子

学年

第2学年

学期

後期

曜日

火曜日

授業時間

9:00～12:00

授業概要

1～2年前期を修了し、総合試験を受験するにあたり、専門職としての歯科衛生士に必要な知識、すなわち「歯科衛生学」として各自が知識の統合を行っていく。1～2年生で学んだ内容について再確認を行う。

一般目標(GIO)

総合試験に合格しうる知識を習得するため、2年間で学んだ内容を統合する。

学習成果(ディプロマ・ポリシー)

- ☐ ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- ☐ ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- ☐ ③ 歯科衛生の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- ☐ ④ 歯科衛生士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- ☐ ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果(カリキュラム・ポリシー)

- ☐ ① 全人的視点から口腔の健康支援をするための基礎教育と専門教育を行う。
- ☐ ② 豊かな人間性、社会性、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- ☐ ③ 協調性、責任感、奉仕の精神を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
- ☐ ④ 専門化・高度化する保健・医療・福祉に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- ☐ ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書

各科目 使用教本

参考書**アクティブ・ラーニング(複数選択可)**

- ☐ PBL ☐ ディベート ☐ ディスカッション
- ☐ フィールドワーク ☐ プレゼンテーション
- ☐ その他()

成績評価の方法と割合

- ☐ 〇 定期試験(100%) ☐ 提出物(ノート・レポート)(%)
- ☐ ポートフォリオ(%)
- ☐ 成果発表(口頭・実技)(%)
- ☐ その他()(%)

2年学期末における総合試験Ⅱにおいて61点以上の獲得が進級審査の基準となる。

オフィスアワー

各授業担当者 メールアドレス
* 事前にmailにて要予約

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
第1回	加藤 千景	保存修復学	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	総合試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第2回	浅沼 直樹	歯科補綴学 (床義歯学)	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	総合試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第3回	浅沼 直樹	歯科補綴学 (歯冠架橋義歯学)	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	総合試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第4回	北澤 裕美	障害者歯科学	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	総合試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第5回	加藤 千景	歯内治療学	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	総合試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第6回	高塩 智子	歯周治療学	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	総合試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第7回	小根山 隆浩	口腔外科学	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	総合試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第8回	高橋 靖之	歯科麻酔学	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	総合試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第9回	高橋 靖之	高齢者歯科学	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	総合試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第10回	長谷川 優	小児歯科学	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	総合試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第11回	長谷川 優	歯科矯正学	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	総合試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第12回	五十嵐 健輔	歯科材料学	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	総合試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第13回	諏江 美樹子	歯科放射線学	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	総合試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	

授業科目名

医療保険事務 I

授業形態

講義

授業責任者

高田 正典

学年

第2学年

学期

後期

曜日

水曜日

授業時間1限目 9:00～10:20
2限目 10:40～12:00**授業概要**

医療事務は、患者対応から医療費請求まで、専門スキルで医療に貢献する幅の広い職種。受付業務では、保険証の受け渡し、受診案内や診療録準備、また患者さんからの医療に対する質問に直接対応する。診療録管理も重要な業務であり、円滑な診療のための整理や検索、管理に正確性が求められる。会計業務では診療費のうち、患者さんの自己負担分を徴収するが、ミスの許されない責任のある業務である。診療報酬請求業務では国や健康保険組合に提出する請求書作成から請求までを行う。学習者は、この医療事務「2級メディカルクラーク(歯科)」の資格を得るために設けられたものである。

一般目標(GIO)

学習者は、医療事務業務に従事するため、(財)日本医療教育財団の2級医療事務技能審査試験取得のために必要な基本的知識・態度・技能を身につける。

学習成果(ディプロマ・ポリシー)

- ☐ ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- ☐ ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- ☐ ③ 歯科衛生の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- ☐ ④ 歯科衛生士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- ☐ ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果(カリキュラム・ポリシー)

- ☐ ① 全人的視点から口腔の健康支援をするための基礎教育と専門教育を行う。
- ☐ ② 豊かな人間性、社会性、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- ☐ ③ 協調性、責任感、奉仕の精神を身に付けるための臨床・臨床実習を行う。
- ☐ ④ 専門化・高度化する保健・医療・福祉に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- ☐ ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書

一般財団法人 日本医療教育財団 医療事務講座①②③④、スタディブック、テキストブック 2022版 編集・発行 株式会社ニチイ学館、プリント

参考書

一般財団法人 日本医療教育財団 医療事務技能審査試験 受験対策問題集(歯科) 2022版 編集・発行 株式会社ニチイ学館

アクティブ・ラーニング(複数選択可)

- ☐ PBL ☐ ディベート ☐ ディスカッション
- ☐ フィールドワーク ☐ プレゼンテーション
- ☐ その他()

成績評価の方法と割合

- ☐ 定期試験(70%) ☐ 提出物(ノート・レポート)(10%)
- ☐ ポートフォリオ(%) ☐ 成果発表(口頭・実技)(%)
- ☐ その他(小テスト)(20%)

一般目標で示した項目についてのマークシート式試験(70%)と、定期的な講義の際の小テストを含めた授業に対する関心・意欲(20%)により評価を行う。知識の習得度などや疑問に思ふ点などについて、レポート提出(10%)により、理解度を確認し、講義に反映させていただきます。

オフィスアワー

水曜日・17:00～18:00・病院1階訪問口腔ケア科研究室 ※事前にメールで要予約(メールアドレス: mtakada@ngt.ndu.ac.jp)

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
第1回	高田 正典	医療保険制度総論として医療保険制度の概要を理解する (1)。	1.医療事務概論を説明する。 2.医療保険制度総論を説明する。
	準備学習	医療保険制度基礎知識、第1章・第2章 保健医療制度の要点確認	
第2回	高田 正典	医療保険制度総論として医療保険制度の概要を理解する (1)。	1.医療事務概論を説明する。 2.医療保険制度総論を説明する。
	準備学習	医療保険制度基礎知識、第1章・第2章 保健医療制度の要点確認	
第3回	高田 正典	医療保険制度総論として医療保険制度の概要を理解する (2)。	1.医療事務概論を説明する。 2.医療保険制度総論を説明する。
	準備学習	医療保険制度基礎知識、第1章・第2章 保健医療制度の要点確認	
第4回	高田 正典	医療保険制度総論として医療保険制度の概要を理解する (3)。	1.医療事務概論を説明する。 2.医療保険制度総論を説明する。
	準備学習	第2章 保健医療制度の要点確認	
第5回	高田 正典	医療保険制度総論として医療保険制度の概要を理解する (4)。	1.医療事務概論を説明する。 2.医療保険制度総論を説明する。
	準備学習	第2章 その他の保健医療制度の要点確認	
第6回	高田 正典 織田隆昭	老人保健医療制度の概要を理解する。	1.老人保健医療制度を説明する。 2.公費負担医療制度を説明する。 3.放射線の算定を説明する。
	準備学習	第2章 老人保健医療制度の要点確認	
第7回	高田 正典 高塩智子	公費負担医療制度の概要を理解する。	1.患者接遇の基本を説明する。 2.患者受付の対応を説明する。 3.歯周病の算定を説明する。
	準備学習	第3章 公費負担制度の要点確認	
第8回	海老原 隆 水橋 亮	医療現場における接遇を理解する。	1.歯科処置全般の算定 2.麻酔抜髄の算定 3.補綴処置の算定①を説明する、
	準備学習	医療事務講座テキスト2の要点確認	
第9回	高田 正典 浅沼直樹	職場のコミュニケーションを理解する。	1.人間関係を説明する。 2.日常の健康管理を説明する。 3.補綴処置の算定②を説明する。
	準備学習	医療事務講座テキスト2の要点確認	
第10回	高田 正典	歯科の基礎知識を理解する。	1.歯の解剖を説明する。 2.歯の表示の仕方を説明する。
	準備学習	医療事務講座テキスト3の要点確認	
第11回	高田 正典	診療報酬点数算定を理解する (1)。	初診料・再診療の基本概念と算定要件を説明する。
	準備学習	医療事務講座テキスト3の要点確認	

第12回	高田 正典	診療報酬点数算定を理解する（3）（4）。	医学管理料の基本概念と算定要件を説明する。 在宅医療の基本概念と算定要件を説明する。
	準備学習	医療事務講座テキスト3の要点確認	
第13回	高田 正典 高塩智子	診療報酬点数算定を理解する（5）。	1.基本診療料の算定について説明する。 2.歯周炎のレセプト点検を説明する。
	準備学習	医療事務講座テキスト3の要点確認	
第14回	高田 正典	診療報酬点数算定を理解する（6）（7）。	画像診断料の基本概念と算定要件を説明する。 麻酔料の基本概念と算定要件を説明する。
	準備学習	医療事務講座テキスト3の要点確認	
第15回	高田 正典	診療報酬点数算定を理解する（8）（9）。	検査料の基本概念と算定要件を説明する。 歯冠修復料の基本概念と算定要件を説明する。
	準備学習	医療事務講座テキスト3の要点確認	

授業科目名

ケアコミュニケーション技法Ⅰ

授業形態

演習

授業責任者

宮崎 晶子

学年

第2学年

学期

後期

曜日

水曜日

授業時間

9:00～12:00

授業概要

医療・福祉・介護現場においては被援助者との信頼関係が不可欠であり、施設内におけるチームワークも重要視されることから、より高度なコミュニケーション能力が求められている。本演習では、病院実習の現場の評価を参考に教育訓練を実施し、フィードバックから得た課題を克服し、円滑な対人関係を実現する。併せてインターネットを活用し、ケア・コミュニケーションIT BOOKにて教科書に掲載されている「ケーススタディ」や「演習」といった集合研修向けの学習テーマを自学自習する。学習成果についてはケア・コミュニケーション・初級アセスメントで学習効果を確認する。

一般目標(GIO)

臨床実習における対人関係の感性と能力を磨くために必要な知識・技能・態度を修得する。

学習成果(ディプロマ・ポリシー)

- ☐ ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- ☐ ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- ☐ ③ 歯科衛生の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- ☐ ④ 歯科衛生士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- ☐ ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果(カリキュラム・ポリシー)

- ☐ ① 全人的視点から口腔の健康支援をするための基礎教育と専門教育を行う。
- ☐ ② 豊かな人間性、社会性、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- ☐ ③ 協調性、責任感、奉仕の精神を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
- ☐ ④ 専門化・高度化する保健・医療・福祉に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- ☐ ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書

ケア・コミュニケーションIT BOOK(ウィネット)

参考書

歯科スタッフのためのケア・コミュニケーション(ウィネット)

アクティブ・ラーニング(複数選択可)

- ☐ PBL ☐ ディベート ☐ ディスカッション
- ☐ フィールドワーク ☐ プレゼンテーション
- ☐ その他()

成績評価の方法と割合

- ☐ 定期試験(80%) ☐ 提出物(ノート・レポート)(20%)
- ☐ ポートフォリオ(%) ☐ 成果発表(口頭・実技)(%)
- ☐ その他()(%)

サーティファイ コミュニケーション能力検定委員会が行うコミュニケーションアセスメント試験により評価を行う(多肢選択方式)。再試験、追試験は必要に応じて実施することがある。提出物は理解度チェックを行ったノートの提出を評価する。

オフィスアワー

月～金曜日・9:00～18:00・3号館2階教室 ※授業終了後またはメールで連絡でも可(akjc@ngt.ndu.ac.jp)

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
第1回	宮崎 晶子	ケア・コミュニケーションの基本的な心構え①	1.医療現場でのルールを理解した行動ができる。 専門F-1-2)-① 2.対象別のコミュニケーションの必要性が説明できる。 専門F-1-1)-③
	準備学習	テキスト第1章(1)の要点確認	
第2回	宮崎 晶子	ケア・コミュニケーションの基本的な心構え②	1.歯科衛生のサービスにあたっての歯科衛生士の役割と必要性を説明できる。専門F-1-3)-④
	準備学習	テキスト第1章(2)の要点確認	
第3回	宮崎 晶子	好感・信頼感を高めるコミュニケーションの基本①(言語・非言語表現、立ち居振る舞い)	1.メッセージ伝達の手段と役割を説明できる。専門F-1-1) 2.非言語情報が与える影響と役割を説明できる。 専門F-1-1)
	準備学習	テキスト第2章(1)の要点確認	
第4回	宮崎 晶子	好感・信頼感を高めるための声掛けや肯定的な表現の仕方	1.好感・信頼感を高める行動を説明する。専門F-1-1)
	準備学習	テキスト第2章(2)の要点確認	
第5回	宮崎 晶子	敬意を伝えるコミュニケーションの基本	1.敬語の使い方を説明する。専門F-1-1) 2.相手の気持ちに配慮した声掛けができる。専門F-1-1)
	準備学習	テキスト第2章(3)の要点確認	
第6回	宮崎 晶子	相手を受容し、共感するスキル	1.受容・共感のコミュニケーションを説明できる。専門F-1-1) 2.交流分析について説明できる。専門F-1-1)
	準備学習	テキスト第3章(1)の要点確認	
第7回	宮崎 晶子	苦情やクレーム対応の基本	1.苦情やクレーム対応について説明できる。 専門F-1-1)
	準備学習	テキスト第3章(2)の要点確認	
第8回	宮崎 晶子	わかりやすく説明し、同意を確認するスキル	1.医療現場における説明・同意について説明できる。 専門F-1-1)、3)-①⑤⑥
	準備学習	テキスト第3章(3)の要点確認	
第9回	宮崎 晶子	コーチングの定義と基本的な考え方	1.コーチング・コミュニケーションについて説明できる。 専門F-1-1)
	準備学習	テキスト第3章(4)の要点確認	
第10回	宮崎 晶子	チームワークとコミュニケーション(1)	1.医療安全とコミュニケーションスキルについて説明する。専門F-1-1)、2)-①②⑤、3)-①②④⑦⑨
	準備学習	テキスト第4章(1)の要点確認	
第11回	宮崎 晶子	チームワークとコミュニケーション(2)	1.アサーティブなコミュニケーションについて説明できる。専門F-1-1)、2)-①②⑤、3)-①②④⑦⑨
	準備学習	テキスト第4章(2)の要点確認	

第12回	宮崎 晶子	視聴覚障害を持つ被援助者を理解・配慮した対応	1.社会における障害の理解や考え方について説明する。 2.視聴覚障害者への対応について説明できる。 専門F-1-1)、3) -①②
	準備学習	テキスト第5章(1)の要点確認	
第13回	宮崎 晶子	認知症、終末期の被援助者を理解・配慮した対応	1.認知症ケアにおけるコミュニケーションを説明できる。 専門F-1-1)、3) -①② 2.終末期におけるコミュニケーションと配慮について説明できる。専門F-1-1)、3) -①②
	準備学習	テキスト第5章(2,3)の要点確認	
第14回	宮崎 晶子	アセスメント試験対策(1)	1.ケア・コミュニケーションのアセスメント試験対策の練習問題を解く。
	準備学習	テキストの要点確認	
第15回	宮崎 晶子	アセスメント試験対策(2)	1.ケア・コミュニケーションのアセスメント試験対策の練習問題を解く。
	準備学習	テキストの要点確認	